
令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 清 風 会



目次

法人本部	P1～8
------------	------

【高齢者施設】

高齢者施設 月別利用状況 ⁱ	P9
---------------------------------	----

特別養護老人ホーム 洸寿園	P10～14
---------------------	--------

金隈老人保健施設 フラワーハウス博多	P15～20
--------------------------	--------

ケアハウス エスペランザ	P21～24
--------------------	--------

特別養護老人ホーム 東かなまち桜園	P25～31
-------------------------	--------

【保育園】

保育園 月別利用状況 ⁱⁱ	P32～35
--------------------------------	--------

御幸保育園	P36～37
-------------	--------

日の里東保育園	P38～39
---------------	--------

五十川保育園	P40～42
--------------	--------

香住ヶ丘保育園	P43～44
---------------	--------

平等寺保育園	P45～46
--------------	--------

東かなまち保育園	P47～49
----------------	--------

大塚第一保育園	P50～51
---------------	--------

大塚第二保育園	P52～53
---------------	--------

はじめに（総括）

2024 年はコロナ後社会として活気を取り戻そうとする矢先に、多くの自然災害や経済の混乱があった一年ではありました。しかし、大谷翔平選手やオリンピックでの日本人選手の活躍が、我々の心を明るく照らしてくれました。

2025 年、日本では第一次ベビーブーム世代が後期高齢者になることで、医療・介護需要の増大と生産年齢人口の減少が同時に進行する「2025 年問題」が到来します。

超高齢化社会における大きな課題であり、特に介護業界の人財不足は、さらに深刻化し、厚生労働省の推計では、2025 年度には介護人財が約 37.7 万人不足すると見込まれています。

日本のように介護保険制度を持っている国はそう多くはありません。ただ、その介護保険も 2000 年のスタートから四半世紀経ちました。2000 年当時は、今ほど高齢化は進んでおらず、介護の担い手もありました。まだ、インターネットは一般的には普及しておらず、DX 化の概念はなく、スマホも AI もありませんでした。また当時の高齢者やご家族の考え方、人生観は今とはかなり異なっていたのではないのでしょうか。

2000 年に作られた介護保険制度はその後の社会環境の変化を受けて、大きな転換が求められています。もっと質の高い利用者本位でご家族に優しい介護を、もっと効率的に提供する仕組みが今の技術では提供可能となっています。

保育業界においても、2025 年が保育所の利用児童数のピークとなる見込みとされています。これから減り続ける「子どもの数、待機児童の数」とこれから増える「保育所等の数」を比較すると、保育の需給バランスは逆転するということになるようです。政府は 2030 年までを少子化を反転させるラストチャンスとして、様々な施策を検討・展開しています。基本的にはすべての子どもを支援するという考え方に基づいており、困難を抱えていたり、従来の支援の枠組みではカバーしきれないような子どもに対しても、誰一人取り残すことなく支援していくという考えのもと施策が組み立てられています。「こどもまんなか社会」の実現を目指すことが、ここ数力年での大きな方針となっているため、新たな制度や補助の時流にアンテナを張ることが必要です。

近年の物価高は、法人の経営に大きな負担をもたらしています。施設で提供する食材費、現場で使う物品の価格高騰、光熱費の高騰により運営コストが上昇、収益は圧迫されています。また人財不足は、保育・介護業界ともに恒常的な問題となっており、少子高齢化社会が進む中でその影響は一層深刻化しています。職員の確保が難しくなると、サービスの質が低下し、利用者の満足度も下がる可能性も高くなります。

現在の福祉業界は、物価高と人財不足等厳しい環境に直面していますが、効率化を進めることで、これからの課題を乗り越えることが可能だと考えます。規模の経済を活かしたコスト削減や、IT 技術を活用した業務を実現し、未来に向けて確固たる基盤を築いていきます。

1. 事業概要

	施設名	施設種別	所在地
高齢者 事業	特別養護老人ホーム 洸寿園	特養・短期入所	福岡市博多区
	金隈老人保健施設 フラワーハウス博多 フラワー介護プランサービス	老健・短期入所・通所リハ・訪問リハ 居宅介護支援	福岡市博多区
	ケアハウスエスペランザ	軽費老人ホーム	福岡市博多区
	特別養護老人ホーム 東かなまち桜園	特養・短期入所	東京都葛飾区
保育 事業	御幸保育園	保育所・小規模保育・家庭的保育	福岡市東区
	日の里東保育園	保育所	宗像市
	五十川保育園	保育所・分園・小規模保育	福岡市博多区
	香住ヶ丘保育園	保育所・分園	福岡市東区
	平等寺保育園	保育所	宗像市
	東かなまち保育園	保育所	東京都葛飾区
	大塚第一保育園	保育所	福岡市西区
	大塚第二保育園	保育所	福岡市西区

2. 沿革

昭和 51 年 1 月 20 日	社会福祉法人認可
昭和 51 年 2 月 23 日	社会福祉法人登記
昭和 51 年 4 月 1 日	日の里東保育園 開設（宗像市）
昭和 51 年 5 月 1 日	御幸保育園 開設（福岡市東区）
昭和 53 年 4 月 1 日	五十川保育園 開設（福岡市博多区・旧北栄会）
昭和 53 年 5 月 22 日	特別養護老人ホーム洸寿園 開設（福岡市博多区）
昭和 55 年 4 月 1 日	香住ヶ丘保育園開設 （福岡市東区・旧藤栄会）
平成 2 年 10 月 24 日	介護老人保健施設フラワーハウス博多 開設
平成 8 年 4 月 26 日	ケアハウスエスペランザ 開設（福岡市博多区）
平成 12 年 2 月 1 日	博多南デイサービス 開設（福岡市博多区）
平成 12 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所フラワー介護プランサービス事業開始
平成 16 年 4 月 1 日	平等寺保育園 開設 （宗像市・旧藤栄会）
平成 18 年 3 月 31 日	博多南デイサービスセンター 閉鎖
平成 21 年 4 月 1 日	福岡市より博多区第 4 地域包括支援センターの運営を受託
平成 21 年 4 月 1 日	香住ヶ丘保育園松ヶ台分園開設
平成 23 年 9 月 1 日	御幸保育園・五十川保育園 家庭的保育事業開始
平成 24 年 3 月 31 日	清風会館 竣工
平成 24 年 10 月 1 日	社会福祉法人北栄会及び社会福祉法人藤栄会を吸収合併
平成 25 年 4 月 1 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開設 （東京都葛飾区）
平成 25 年 4 月 1 日	東かなまち保育園 開設（東京都葛飾区）

平成 27 年 3 月 31 日	博多第 4 地域包括支援センターの受託終了
平成 28 年 4 月 1 日	第二十五川保育園 開設（福岡市博多区）
平成 29 年 4 月 1 日	フラワーハウス博多訪問リハビリテーション事業開始
平成 30 年 4 月 1 日	大塚第一保育園・大塚第二保育園 開設（福岡市西区）
平成 30 年 6 月 1 日	金の隈訪問介護ステーション 開設（福岡市博多区）
令和 4 年 12 月 31 日	金の隈訪問介護ステーション 事業廃止

3. 役員等

理 事	手嶋 常次（理事長） 喜多岡 陽子 平山 雅敏 山岡 寿 村尾 俊明 佐野 正人
監 事	井 保則 坂田 圭介
評議員	上村 孝志 大橋 晋弘 柴田 凱夫 末松 祐而 黒岩 尚昭 茶井 千恵子 小島 英二

4. 会議実績

1. 理事会

回	開催日	出席	主な審議事項
1	R6.6.5	理事 6 名 監事 2 名	① 令和 5 年度事業報告(案)・決算報告(案)について ② 規程等の変更について ③ フラワーハウス博多 ドーム型シャワー装置の購入について ④ 会計監査人の契約更新について ⑤ 第 1 回評議員会の招集について
2	R6.9.18	理事 6 名 監事 2 名	① 人事異動について ② 規程等の変更について ③ SmartHR の導入について ④ 東かなまち桜園 賃借料及び保証金の変更について
3	R6.12.14	理事 5 名 監事 2 名	① 令和 6 年度中間決算報告について ② フラワーハウス博多 介護ポータル追加導入及びネットワーク環境整備について ③ 第 1 次補正予算（案）について ④ 東かなまち桜園 経営状況について ⑤ 香住ヶ丘保育園 園庭用地の購入について ⑥ 大塚第二保育園 監査指摘事項について ⑦ 評議員会の招集について
4	R7.3.19	理事 6 名 監事 2 名	① 令和 6 年度第 2 次補正予算（案）の承認の件 ② 令和 7 年度事業計画（案）、当初予算（案）の承認の件 ③ 規程の新設・変更の承認の件 ④ 香住ヶ丘保育園 土地購入資金借入の承認の件 ⑤ 保育園 俸給表の改定及び支給の承認の件 ⑥ 洗寿園 食費の改定の承認の件 ⑦ フラワーハウス博多 協力医療機関の協定締結の承認の件 ⑧ 評議員会の招集の件

2. 評議員会			
回	開催日	出席	主な審議事項
1	R6.6.22	評議員 7 名 監事 2 名	① 令和 5 年度事業報告(案)・決算報告(案)について ② 会計監査人の契約更新について ③ 役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規程の変更について
2	R6.12.14	評議員 7 名 監事 2 名	① 令和 6 年度中間決算報告について ② 第 1 次補正予算(案)について
3	R7.3.29	評議員 7 名 監事 2 名	① 令和 6 年度第 2 次補正予算(案)について ② 令和 7 年度事業計画(案)、当初予算(案)について

3. 経営会議			
回	開催日	出席	主な審議事項
1	R6.4.11	委員 13 名 書記 2 名	① 就業規則等の変更について ② 令和 6 年度の採用と広報関係について ③ 令和 5 年度決算スケジュールについて
2	R6.5.9	委員 13 名 書記 2 名	① 令和 5 年度決算報告(暫定)について ② 就業規則の改定について ③ ドーム型シャワー装置の購入について(フラワーハウス博多)
3	R6.5.30	委員 13 名 書記 2 名	① 令和 5 年度事業報告・社会福祉充実残額について ② 会計監査人との契約更新について ③ 介護施設等補助事業(災害対策等関係)について ④ 理事会・評議員会の開催について
4	R6.7.4	委員 13 名 書記 2 名	① プレリーダー研修(高齢者部門)について ② 美術品の活用方法について
5	R6.8.1	委員 13 名 書記 2 名	① 第 1 四半期の収支状況について ② SmartHR の導入について ③ 高齢者施設交流会(ボウリング・親睦会)について ④ 稟議の決裁について
6	R6.9.5	委員 11 名 書記 2 名	① 人事異動について ② 正規職員 B(福岡県保育園)の導入について ③ 規程の変更について ④ 理事会の開催について
7	R6.10.10	委員 12 名 書記 2 名	① 最低賃金の取り扱いについて ② コンプライアンス関連規程の検討委員会設置について ③ フラワーハウス博多 介護ロボット追加導入及びネットワーク環境整備について ④ 新入職員のオリエンテーションの在り方について ⑤ 正職員 B(福岡県内保育園)の導入検討委員会設置について
8	R6.11.7	委員 12 名 書記 2 名	① 令和 6 年度中間決算(暫定)について ② 第 1 次補正予算(案)について

			③ 規程等の変更について ④ 理事会・評議員会の開催について
9	R6.12.5	委員 13 名 書記 2 名	① 令和 6 年度中間決算について ② 香住ヶ丘保育園 土地購入について ③ ディップとの年間契約更新について ④ 下期賞与支給額について
10	R7.1.9	委員 13 名 書記 2 名	① 令和 7 年度事業計画及び当初予算の作成について ② 事業計画書、組織図の見直しについて ③ 令和 7 年度本部及び東かなまち桜園の繰入金について
11	R7.2.6	委員 13 名 書記 2 名	① 令和 6 年度第 3 四半期の決算状況について ② 令和 6 年度俸給表（保育園）の改定について ③ 公印管理について ④ 法人カードの運用について ⑤ 規程等の変更について ⑥ 令和 7 年度保育部門での求人広告とビ`効フェとの契約更新について ⑦ 令和 7 年度高齢者部門での法人主催研修と法定研修について ⑧ 園児の募集状況について ⑨ 桜園 LED の導入について ⑩ 桜園 休日の変更について
12	R7.3.6	委員 12 名 書記 2 名	① 令和 6 年度第 2 次補正予算(案)について ② 令和 7 年度 事業計画(案)、当初予算(案)について ③ 規程等の変更について ④ 休日の変更について（高齢者施設） ⑤ 令和 6 年度俸給表の改定（東京保育園）について ⑥ 洗寿園 食費の改定について ⑦ フラワーハウス博多 協力医療機関の追加について ⑧ 人事について ⑨ 令和 7 年度委員会活動について ⑩ 理事会・評議員会の開催について

5. 監査実績

(1) 監事監査

① 定期監査

実施日及び 実施施設	【令和 6 年 10 月 8 日】 ・ 平等寺保育園・日の里東保育園・洸寿園・大塚第一保育園・御幸保育園・五十川保育園 【令和 6 年 10 月 9 日】 ・ 香住ヶ丘保育園・東かなまち保育園・大塚第二保育園・フラワーハウス・エスペランザ ・ 東かなまち桜園・本部
出席監事	井保則 坂田圭介
立会役職員	施設長・事務長・事務担当者・本部職員
監査内容	(1)法人運営全般及び役員等の職務実施状況 (2)各拠点の運営管理 (3)人事・労務管理 (4)安全管理状況
監査結果	・ 各拠点とも問題なく業務が行われ会計処理等も適切である。

② 決算監査

実施日	令和 7 年 5 月 21 日・22 日
出席監事	井保則 坂田圭介
立会役職員	本部職員

(2) 会計監査人監査

① 定期ヒアリング

実施日及び実 施期間	【令和 6 年 9 月 10 日】日の里東・平等寺・大塚第一・大塚第二保育園 【令和 6 年 9 月 11 日】五十川・御幸・香住ヶ丘保育園 【令和 6 年 11 月 11 日】洸寿園・フラワーハウス・エスペランザ 【令和 6 年 11 月 20 日】東かなまち桜園・東かなまち保育園
内容	(1)公印管理 (2)日常業務 (3)その他
立会役職員	施設長・事務長・事務担当者・本部職員

③ 期末監査

実施日	令和 7 年 4 月 30 日～5 月 8 日
立会役職員	本部職員

(3) 指導監査

① 洸寿園

実施日	令和 6 年 9 月 24 日
指摘事項 (文書指導)	<ul style="list-style-type: none">・入所優先順位名簿について、特記事項の加点誤りが 1 件ありました。自主点検を行い、今後の入所案内では新しい順位表を用いるようにしてください。・各種（身体拘束・感染症対策・事故防止・虐待防止）指針について、委員会の構成が実態と異なるため、指針の見直しを行ってください。・勤務実績表の非常勤職員の労働合計時間について、有給休暇等の時間を含めて算出されていたので、非常勤職員については、常勤換算を行うにあたり、有給休暇等の時間は含まずに適切に管理してください。・看取り指針の見直しを定期的に行っておらず、以下の事項について内容が不十分なため指針の見直しを定期的に行い、修正を検討してください。（終末期に辿る経過とそれに応じた介護の考え方、施設等において看取りに際して行いうる医療行為の選択肢、入所者等への情報提供に供する資料及び同意書の様式、家族への心理的支援に関する考え方）

② 大塚第二保育園

実施日	令和 6 年 10 月 3 日、11 日
指摘事項 (B 項目以上又は 文書指導以上)	<ul style="list-style-type: none">・雇入れ時の健康診断を実施してください。・職員を給与規程によらずに特別昇給させるときは、理事会の承認を得てください。・勤続手当の支給額が誤っているものを修正し、差額を追加支給してください。・扶養手当の支給が誤っているものを修正してください。・契約書の作成にあたっては、不備がないように適正かつ適切な手続きを行ってください。

③ 日の里東保育園

実施日	令和 6 年 10 月 22 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	(福岡県・宗像市) 特になし

④ 平等寺保育園

実施日	令和 6 年 10 月 23 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	(福岡県) 特になし (宗像市) 職員配置が適切に行われていない時間帯がありました。基準を遵守し、職員を配置してください。

⑤福岡市内保育園（令和 6 年 12 月）

拠点名	指摘事項
御幸保育園（小規模・家庭的含む）	指摘事項なし（書面）
五十川保育園（分園・小規模含む）	指摘事項なし（書面）
香住ヶ丘保育園（分園含む）	指摘事項なし（書面）
大塚第一保育園	指摘事項なし（書面）

⑥フラワーハウス博多

実施日	令和 6 年 11 月 14 日
指摘事項 （文書指導）	感染症の事故報告がされていないので、発生した感染症については、福岡市「介護サービス事故に係る報告要領」に基づき、罹患者数に関わらず、保険者に報告すること。

6. 重点実施項目の取り組みと成果

(1)人権の尊重

法人理念を意識した人材育成研修を高齢者事業のリーダー・サブリーダーを対象に実施した。職員だけでなく、上司もオブザーバーとして参加することで、新たな関わりが生まれ、行動定着に繋がっている。

(2)人材確保と定着

深刻化していく人材不足に対し、保育部門において非常勤職員の賃金（時給）の大幅な改善を実施。高齢部門においては、令和 7 年度 4 月導入に向け休日の増加策（年間 7 日増加）を実施。先を見据え、目に見える形での労働条件の改善を行った。採用場面においては、短期間での離職防止のため、ミスマッチを防ぎ、新人教育の充実、フォローアップ体制の強化を行い、半年以内の離職率は大幅に減少した。

厳しい状況に変わりはないものの、今後も「辞めない環境を作る」ことに繋がる施策を継続して実施していきたい。

(3)人材育成

人材確保のうえでも、人材育成は重要で、新人教育の充実はもちろん、高齢部門では法人主催研修として、中間管理職層の強化としてリーダー（サブリーダー）研修を実施。リーダーとしての意識改革・行動変容に繋がっていくものと期待している。

保育部門においても、令和 7 年度より同研修を導入予定。法人の次の世代を担う人材を育成していきたい。

(4)コンプライアンスの推進

法人経営と事業の透明性を図るための、法令遵守（コンプライアンス）については、さらなる機能強化のため、公益通報者保護法の改定による規程の見直しを現在行っている。

社会福祉法人清風会 高齢者施設・事業所 月別利用状況

令和6年度

施設名	施設種別	定員	利用状況												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計・平均
光寿園	特養 (短期舎)	100	97	97	93	95	91	95	92	93	93	96	93	90	93.8
			2,876	3,023	2,828	2,872	2,903	2,799	2,842	2,737	2,894	2,926	2,680	2,892	34,272
			95.9	97.5	94.3	92.6	93.6	93.3	91.7	91.2	93.4	94.4	95.7	93.3	93.9
			95.9%	97.5%	94.3%	92.6%	93.6%	93.3%	91.7%	91.2%	93.4%	94.4%	95.7%	93.3%	93.9%
東かなまち 桜園	特養	140	140	139	138	136	136	137	138	139	137	137	135	137.5	
			4,063	4,167	3,929	4,048	4,031	3,856	4,044	4,041	4,157	4,120	3,683	4,092	48,231
			135.4	134.4	131.0	130.6	130.0	128.5	130.5	134.7	134.1	132.9	131.5	132.0	132.1
			96.7%	96.0%	93.5%	93.3%	92.9%	91.8%	93.2%	96.2%	95.8%	94.9%	94.0%	94.3%	94.4%
	特養 (短期)	20	12	6	10	13	15	9	11	15	18	11	13	15	12.3
			442	495	414	446	520	476	491	484	479	510	448	487	5,692
			14.7	16.0	13.8	14.4	16.8	15.9	15.8	16.1	15.5	16.5	16.0	15.7	15.6
			73.7%	79.8%	69.0%	71.9%	83.9%	79.3%	79.2%	80.7%	77.3%	82.3%	80.0%	78.5%	78.0%
フアールハウス博多	老健 (短期舎)	138	125	126	129	124	129	124	126	123	123	121	121	118	124.1
			3,586	3,854	3,790	3,958	3,966	3,836	3,853	3,698	3,833	3,865	3,389	3,771	45,399
			119.5	124.3	126.3	127.7	127.9	127.9	124.3	123.3	123.6	124.7	121.0	121.6	124.4
			86.6%	90.1%	91.5%	92.5%	92.7%	92.7%	90.1%	89.3%	89.6%	90.3%	87.7%	88.1%	90.1%
	通所小	20	313	338	277	291	250	253	279	266	232	193	215	245	3152.0
			12	12.5	11.1	10.8	9.6	10.1	10.3	10.2	9.3	8	8.96	9.4	10.2
			60.0%	62.5%	55.5%	54.0%	48.0%	50.5%	51.5%	51.0%	46.5%	40.0%	44.8%	47.0%	50.9%
			利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
エス・エフ・エス	訪問小	-	12	14	12	12	12	12	14	12	12	14	12	12	150
			60	61	63	68	69	69	68	68	65	61	61	61	65
			139	138	141	142	140	141	143	144	144	143	141	139	141.3
			92.7%	92.0%	94.0%	94.7%	93.3%	94.0%	95.3%	96.0%	96.0%	95.3%	94.0%	92.7%	94.2%

特別養護老人ホーム 洸寿園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区金の隈 3-24-55
施設長氏名	江口 茂
事業開始年月日	昭和 53 年 5 月 22 日
実施事業・定員	介護老人福祉施設（定員 100 名） （介護予防）短期入所生活介護（空床利用型）

2. 沿革

昭和 53 年 5 月 20 日	特別養護老人ホーム洸寿園 認可
昭和 53 年 5 月 22 日	特別養護老人ホーム洸寿園 開園
昭和 55 年 4 月 1 日	短期入所生活介護事業 開始（福岡市）
昭和 62 年 4 月 1 日	施設機能強化推進事業 開始（福岡市） （処遇困難事例研究事業）
平成元年 8 月 1 日	ナイトケア事業開始（福岡市）
平成元年 12 月 23 日	御下賜金 拝受
平成 9 年 10 月 1 日	老人介護支援センター事業 開始（福岡市）
平成 12 年 3 月 31 日	介護保険施行に伴い、福岡市短期入所事業・老人介護支援センター事業受託契約解除 福岡市施設機能強化推進事業終了

3. 事業経過

（1）施設利用状況

※利用状況の統計表は末尾参照

◎介護老人福祉施設・（介護予防）短期入所生活介護事業

年間の入所者延数は 34,272 人／稼働率 93.9％と、前年度(34,056 人／稼働率 93.0％)を僅かに上回ったが、目標の 96％を達成できなかった。令和 6 年度は、4 月・5 月の稼働率は良好であったが、年間で入院者が増加したことにより(月平均 7 名)、ベッドコントロールが難しい状況が続いた。また、8 月・3 月には施設内で新型コロナウイルス感染症が感染拡大したために入所を一時的に停止したことや、同時に入院や退所が続いたことなどが影響し、稼働率が伸びなかった。

短期入所利用の問い合わせは減少傾向であり、延べ利用日数は 289 日（前年度 601 日）であった。そのうち入所希望者による長期利用は 2 名で延 200 日であった。

令和 6 年度は、入所検討委員会を年 2 回から 4 回に増やして実施。入所検討委員会前に入所案内可能な方がいなくなることはなかったが、残り僅かな状況となった時期もあった。

また、令和 6 年度からは、近隣以外の医療機関や介護老人保健施設への営業活動にも力を入れている。引き続き、療養病床のある医療機関や居宅のケアマネージャーへの営業を行い、今後もより幅広く申込を受けることができるよう取り組んでいきたい。

(2) 運営報告

① 委員会活動報告

各委員会では施設サービスのあり方や運営状況等を議題に、多職種の参加により様々な視点から意見を出し合い、入所者の生活環境や職員の労働環境などの改善に取り組んでいる。

令和6年度は、委員会リーダー(防災・環境整備、レク、口腔衛生)に新たな3名が着任した。委員会リーダー制により、委員会の活性化と各リーダーのスキルアップなどに繋がっている。また、新たに係長以上で構成する幹部会議を設け、重要事項の情報共有及び各種事項の審議・決定機関としての活動を開始している。

② 行事实施報告

施設内での新型コロナウイルスの感染拡大が2度あり、その影響で8月の野球観戦と9月の敬老会を中止したが、その他の外出行事(飾り山見学)や花火大会、クリスマス会などは通常通り実施することができた。また、初めての試みで居酒屋風行事(施設内で飲酒を伴う食事会)を行ったところ、入所者には非常に好評であった。今後も新たな内容なども取り入れつつ、入所者に楽しんでもらえるような行事を実施していきたい。

③ 研修実施報告

令和5年度から行っていた清風会リーダー研修(1年)が終了し、続いて令和6年度には新メンバーでプレリーダー研修を開催した。各リーダーがこの研修を通して学んだ、リーダーに必要なスキルを活かし、より良い施設となることを目指している。

外部研修(Web研修等を含む)への参加者数は、前年度とほぼ変わらない状況であった(28件、全47名)。今後も研修という学びの機会を大事にし、偏りなくより多くの職員に必要な研修の受講を目指しつつ、習得状況や学んだことが施設へ活かしているかを確認していきたい。

④ 苦情受付件数：2件（全て解決）

- (1) 入院者の家族から、入院先お病院で口腔ケアや衣類などの不備について指摘を受けたため、改めてもらいたいとの申し出があり、対策を立て、関係職員へ周知した。
- (2) 入所者が亡くなられた時の死亡診断書を見た家族からの指摘で、入所者がコロナ感染していたことの家族連絡が漏れていたことが判明した。連絡体制を見直し、職員へ周知した。

⑤ 事故報告

- ・事故報告：275件(受診16件)／前年度219件(受診18件)
- ・気づき報告：355件／前年度545件

令和 6 年度	事故 件数	受診	市町村 報告	市町村報告内訳				
				骨折	誤嚥	異食	誤薬	その他
4 月	25	1	2	1	0	1	0	0
5 月	16	0	0	0	0	0	0	0
6 月	20	2	2	1	0	0	0	1
7 月	18	0	1	0	0	1	0	0
8 月	17	0	1	0	1	0	0	0
9 月	19	1	1	1	0	0	0	0
10 月	26	2	4	0	1	1	1	1
11 月	22	2	4	0	0	0	2	2
12 月	27	2	3	2	0	0	0	1
1 月	26	3	5	1	1	0	1	2
2 月	26	0	5	0	0	4	0	1
3 月	33	3	14	2	0	7	4	1
合計	275	16	42	8	3	14	8	9

事故報告は前年比 56 件増、気づき報告は前年比 190 件減となっている。前年と比べ骨折事故と異食事故、誤薬事故が増加している。特に、一定期間に骨折事故と誤薬事故が続いたため、原因分析及び再発防止に取り組んだ。また、居室内での事故を防ぐため、見守り機器(眠りスキャン・カメラ)を導入したが、精度や反応速度に課題があるため、今後必要な設置環境の再整備を行いたい。

⑥ 地域交流

生活相談員が中心となって地域の清掃活動や交流レク、買い物支援活動などに参加・実施することができた。活動の際は新たに作成したビブス(法人名・施設名入り)を着用しており、地域へ“清風会”を認知してもらえることに、少なからず繋がっていると考えます。

⑦ ボランティア(受入)

ボランティア受入(演芸)は、コロナ感染拡大のため中止した。その他では、数年ぶりに「ふれあい相談員」の受入を再開しており、入所者が外部の方と会話を楽しみ、困りごとなどを伝える良い機会となっている。今後も、地域へ開かれた施設となることを目指して取り組んでいきたい。

4. 総 括

令和 6 年度は、施設内での 2 度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大と、昨年と比べて入院者が大幅に増加したこと(合計約 100 件)が大きく影響し、入所率が伸びなかった。特に 3 月のコロナ感染拡大時は、感染が施設内で一気に広がったというわけではなく、断続的に感染者が増えていったことで終息するまでに期間を要し、入所者数を大きく下げて年度末を迎えることとなってしまった。令和 7 年度においては、感染症が感染拡大しても短期で終息できるよう、徹底して感染対策の見直しを行い、入所者が施設で、安心して楽しい生活を送ることができるよう取り組んでいきたい。

令和 6 年度統計資料

1. 施設利用状況（入所及び退所・月別延べ入所率）

	月間入所者数				月間退所者数					月間延べ 入所者数	平均入所率 (%)
	家庭	施設	病院	計	家庭	施設	病院	死亡	計		
4 月	2	2	1	5	0	0	0	1	1	2876	95.87
5 月	0	1	0	1	0	0	1	0	1	3023	97.52
6 月	0	1	0	1	0	0	0	2	2	2872	94.27
7 月	1	1	0	2	0	0	0	2	2	2895	92.65
8 月	1	1	1	3	0	0	0	2	2	2903	93.65
9 月	0	2	0	2	0	0	0	2	2	2799	93.3
10 月	1	2	0	3	0	2	2	2	6	2842	91.68
11 月	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2737	91.23
12 月	0	1	1	2	0	0	1	2	3	2894	94.29
1 月	0	4	0	4	0	0	0	0	0	2926	94.39
2 月	1	0	0	1	0	0	2	1	3	2926	94.39
3 月	1	0	0	1	0	0	1	6	7	2892	93.29
計	7	17	3	27	0	2	7	20	29	34272	93.90

2. 施設利用状況（入所期間別）R7.03.31

区 分	男（人）	女（人）	計（人）
1 年未満	6	14	20
1～2 年未満	8	12	20
2～3 年未満	2	8	10
3～4 年未満	0	9	9
4～5 年未満	2	6	8
5～6 年未満	0	7	7
6～7 年未満	1	4	5
7～8 年未満	0	2	2
8～9 年未満	2	1	3
9～10 年未満	0	1	1
10 年以上	1	4	5
計	22	68	90

3. 施設利用状況（年齢別）R7.03.31

区 分	男（人）	女（人）	計（人）
60 歳～64 歳	0	1	1
65 歳～69 歳	0	1	1
70 歳～74 歳	6	4	10
75 歳～79 歳	1	12	13
80 歳～84 歳	7	9	16
85 歳～89 歳	4	21	25
90 歳～94 歳	3	13	16
95 歳～99 歳	1	7	8
100 歳～	0	0	0
合計	22	68	90
平均年齢	80.9	85.4	84.3
最高年齢	97	99	99

4. 施設利用状況（介護度別） R7.03.31

要介護度	男（人）	女（人）	計（人）
要介護 1	1	3	4
要介護 2	4	4	8
要介護 3	6	15	21
要介護 4	5	28	33
要介護 5	6	18	24
合計	22	68	90
平均	3.5	3.79	3.72

5. 保険者別数 R7.03.31

保険者	男（人）	女（人）	計（人）
福岡市博多区	12	46	58
福岡市東区	1	3	4
福岡市南区	3	6	9
福岡市西区	1	1	2
福岡市中央区	0	1	1
福岡市早良区	0	0	0
福岡市城南区	0	0	0
春日市	2	4	6
大野城市	1	1	2
那珂川市	0	1	1
筑紫野市	0	0	0
出水市	1	0	1
横浜市	0	1	1
太宰府市	0	1	1
広域連合	1	3	4
計	22	68	90

6. 健康保険の加入状況 R7.03.31

保険の種類	男（人）	女（人）	計（人）
後期高齢者	16	59	75
国民健康保険	4	4	8
協会けんぽ	0	0	0
医療扶助	2	5	7
計	22	68	90

7. 身体障がい・精神障害者手帳所持状況（人） R7.03.31

等級	1 級		2 級		3 級		4 級		計	
区分性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
視覚	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1
聴覚・言語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四肢体幹	5	4	1	5	1	0	0	0	7	9
内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2
男女別計	6	4	3	8	1	0	0	0	10	12
計	10		11		1		0		22	

フラワーハウス博多

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区金の隈 3-24-8
施設長氏名	江崎 卓弘
事業開始年月日	平成 2 年 10 月 24 日
実施事業・定員	介護老人保健施設（定員 138 名） （介護予防）短期入所生活介護（空床利用型） （介護予防）通所リハビリテーション（定員 20 名） （介護予防）訪問リハビリテーション 居宅介護支援事業所（フラワー介護プランサービス）

2. 沿革

平成 2 年 10 月 24 日	金隈老人保健施設 開設許可・事業開始
平成 7 年 11 月 14 日	施設名称変更「金隈老人保健施設フラワーハウス博多」
平成 11 年 8 月 1 日	居宅介護支援事業所フラワー介護プランサービス認可
平成 12 年 4 月 1 日 （介護保険法施行）	介護保健施設事業・短期入所療養介護事業・通所リハビリテーション・居宅介護支援事業開始
平成 15 年 12 月	3 階～6 階全面改装終了
平成 17 年 11 月	1 階・2 階全面改装終了
平成 18 年 4 月 1 日 （介護保険法改正）	介護予防短期入所療養介護事業・介護予防通所リハビリテーション事業開始
平成 23 年 10 月	公益社団法人全国老人保健施設協会より表彰
平成 29 年 5 月	訪問リハビリテーション事業・介護予防訪問リハビリテーション事業開始
平成 29 年 6 月	施設大規模改修工事終了
令和 3 年 3 月	個室化改修工事終了（完全個室 2 室、準個室 10 室）
令和 3 年 4 月	入所定員を 2 名減じ 138 名とする

3. 事業経過

（1）施設利用状況

① 介護保健施設・短期入所療養介護事業（定員 138 名）

年間入所者延数は 45,399 名（1 日平均 124.4 名／利用率 90.1%）で、前年度比、+2,831 名（1 日平均+8.1 名／利用率+5.8%）でした。

4 月は 1 日平均 119.5 名、利用率 86.6%と令和 5 年度の低い数値の影響が残るスタートでしたが、5 月以降順調に利用率が上がり 9 月の時点で 127.9 名、利用率 92.7%まで上げることができました。

しかし、10 月以降超強化型類型維持に必要とされる 1 つの指標項目である支援相談員配置割合について、相談員 2 名の休職が影響、入所案内の制限が必要となり下半期は利用率を上げることができず累計 124.4 名で年度を終了してしまいました。

②（介護予防）通所リハビリテーション事業（定員 20 名）

令和 6 年度の通所利用者延数は 3,152 名（1 日平均 10.2 名／利用率 51.2%）

でした。前年度比で、利用延数は▲560名（1日平均▲1.8名／利用率▲8.8%）となりました。前年度と比べ利用者は大幅に減少、6月にデイケア主任が退職、その後役職者の補充ができず、職員補充も困難な状況が続いた為利用者の受入を制限したことが利用率低迷の大きな要因となりました。

令和7年度は、人員の補充が整いつつある為1日も早く役職者の配置も含め体制を整え、同一法人のケアハウスはもちろん近隣の通所サービスを持たない入所施設への営業活動を積極的に行い利用者の獲得に努めていきます。

③（介護予防）訪問リハビリテーション事業

令和6年度の実人数は3名、訪問リハビリ延数は150回でした。前年度比で実人数は1名減、訪問リハビリ延数7回減となりました。訪問リハビリは、老健の持つ在宅療養支援機能のひとつであり、事業を継続するためにも、地域の高齢者の在宅生活を支援するためにもサービスの質の向上と、利用者確保に努めてまいります。

④ 居宅介護支援（フラワー介護プランサービス）

居宅介護支援（介護予防支援）の延数は774名（月平均64.5名）と、目標数（月平均60名）をクリアできませんでした。

しかし、同一法人のケアハウス利用者との契約数が増加傾向にある為令和7年度も連携を継続していきます。

⑤ 第二種社会福祉事業

第二種社会福祉事業である「無料又は低額介護老人保健施設利用事業」においては、今年も目標通り延入所者数の10.7%の方を対象とし、社会福祉事業として、生活困難者への援助を減免規程に従って行うことができました。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動報告

運営会議をはじめとし、利用者処遇に関する課題解決や情報共有のために会議・委員会を多職種で構成し設置しています。令和6年度、12種の会議・委員会を行い、延べ157名の構成員で運営しています。業務全般において効率性、効果性の視点から有効な会議・委員会と評価しますが、引き続き質が高く活発な意見が出し合える会議・委員会となるように内容の充実に努めていきたいと考えます。

特に運営会議、在り方委員会、幹部会議、全部署会議については施設の運営、在り方について議論される場であるため質の高い議論、成果のある場となるよう努めていきます。

② 行事・広報活動報告

令和6年度は感染対策を講じた上で、レクリエーションや行事が行われ、夏祭りや敬老会については規模を縮小しての開催でしたが利用者に喜んで頂くことができました。

また、面会については、感染症の流行により2回程制限をかけることがありま

したが、1年を通じて安定した状況で面会環境を整えることができました。

一方で、安心・安全な療養生活を維持するために、引き続きコロナウイルス感染症を含むさまざまな感染症を持ち込まないことは重要であると考えております。利用者が家族に会える大切な時間を守るためにも、高齢者施設で働く職員は高い感染防止対策に係る意識を持ち行動し、これを継続する必要があると考えています。

③ 研修実施報告

感染・褥瘡予防委員会、権利擁護推進委員会、事故防止部会では専門的施設内研修を年間で各2回開催し、件数が年々増加している看取りケアについても、年2回の専門的施設内研修を開催しております。

また、昨年度2名増やした介護福祉士実習指導者講習会修了者の活動により介護福祉士養成校の介護実習受入体制が安定、今年度2名の新卒採用につながりました。

そして、法人法部主催のプレリーダー研修受講により、受講者1人1人が自身に求められる役割を明確にしたうえで計画を立案、より良いチーム作りに向けた活動につながっています。

④ 苦情

受付件数は1件、通所サービス利用者が他の利用者からセクハラ行為を受けたとの苦情があった。利用日の調節、安全かつ、安心して過ごすことができるよう4つの監視カメラを設置し本人、ご家族の理解を得た。

⑤ 事故報告

令和6年度の総事故報告件数は189件発生しております。総事故報告件数は前年度比14件増加しております。事故の内容につきましては、最も多い事故が転倒71件、次に誤薬与薬漏れ27件、転落18件となっています。今年度、防ぐべき事故を1件でも減らすことを目的としてリスクマネジャーを中心に活動してきましたが課題の残る結果となりました。

転倒事故はもちろん誤薬事故は生命の危機に関わる重大事故であることを1人1人の職員が意識し業務に取り組むことが出来るように働きかけていきます。

⑥ ボランティア・地域交流

令和6年度、新型コロナウイルス等の感染症拡大の観点からボランティアの受け入れはまだまだ慎重にならざるを得ない年度でした。一方、外向けの動きとしては、地域行事への参加を関連施設と連携しながら実施しました。

地域交流については、昨年度から活動再開した「買い物支援」の実施。また、金隈新町の「金隈新町サロン会」（茶話会形式の集会）に参加し健康教室を実施しました。また、今年度から博多第4圏域「ひつつきむしネット」への参加、地域活動範囲を広げる活動を行っています。

4. 総 括

令和6年度の経営状況は、当期資金収支差額40,395千円、黒字経営でした。しかし、平均入所者数が124.4名、目標である130名を-5.6名下回った結果となりました。

施設類型は「超強化型」を年間通して維持、LIFE 関連加算 4 項目の算定、短期集中リハビリ加算など各種加算算定を積極的に行い 1 日 1 人 15,000 円以上のサービス単価を安定して実現できました。

整備面では、前年度分から追加で見守り用「介護ロボット」を導入、更なる職員の負担軽減と効率的な運営に繋げることができるよう活用したいと考えています。

令和 7 年度に向けては、年度目標（1 日平均：入所 127 名、ショートステイ 3 名、デイケア 16 名、訪問リハビリ 10 名、居宅 65 名）の達成に努め、併せて「超強化型」の維持、LIFE 関連加算の算定項目数の増も視野に入れた増収に向け努力するとともに、地域貢献活動に積極的に取り組みながら、地域にとってなくてはならない施設を目指していきます。

令和6年度 施設利用状況

フラワ－ハウス博多

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延数	月平均	比率
月間入所者数	25	22	28	23	31	23	31	27	23	19	19	35	306	25.5	-
在宅															
家庭	2	6	2	3	4	8	2	3	2	5	0	2	39	3.3	12.7%
施設	0	0	2	1	2	0	2	2	3	1	2	0	15	1.3	4.9%
医療機関	13	5	9	7	7	1	10	6	6	3	7	10	84	7.0	27.5%
介護保険施設	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	0.7%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%
短期	9	11	14	12	18	14	17	16	12	10	10	23	166	13.8	54.2%
月間退所者数	18	21	25	28	26	28	29	30	23	21	19	38	306	25.5	-
在宅															
家庭	4	4	5	5	3	2	5	4	3	4	2	2	43	3.6	14.1%
施設	0	2	2	2	4	4	1	3	2	0	2	3	25	2.1	8.2%
医療機関	5	3	2	6	0	3	3	3	2	4	3	7	41	3.4	13.4%
介護保険施設	1	2	2	0	0	4	2	3	1	1	0	3	19	1.6	6.2%
死亡	0	0	0	1	2	1	2	1	1	2	2	2	14	1.2	4.6%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%
短期	8	10	14	14	17	14	16	16	14	10	10	21	164	13.7	53.6%
在所要延数	3,586	3,854	3,790	3,958	3,966	3,836	3,853	3,698	3,833	3,865	3,389	3,771	45,399	3783.3	-
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	-
平均	119.5	124.3	126.3	127.7	127.9	127.9	124.3	123.3	123.6	124.7	121.0	121.6	124.4	-	-
利用率	86.6%	90.1%	91.5%	92.5%	92.7%	92.7%	90.1%	89.3%	89.6%	90.3%	87.7%	88.1%	90.1%	-	-
在宅復帰率	40.0%	54.5%	66.7%	66.7%	100.0%	38.5%	66.7%	46.2%	62.5%	42.9%	57.1%	38.5%	56.7%	-	-
ベッド回転率	0.111	0.088	0.085	0.066	0.085	0.092	0.092	0.105	0.08	0.067	0.077	0.102	0.0875	-	-
短期入所延数	37	58	62	55	69	41	86	84	67	36	49	82	726	60.5	-
利用者実人数	7	10	8	8	11	8	10	9	8	5	7	12	103	8.6	-
通所リハビリ延数	313	338	277	291	250	253	279	266	232	193	215	245	3,152	262.7	-
介護	273	311	244	254	225	235	254	241	213	169	194	221	2,834	-	89.9%
予防	40	27	33	37	25	18	25	25	19	24	21	24	318	-	10.1%
実施日数	26	27	25	27	26	25	27	26	25	24	24	26	308	-	-
平均	12.0	12.5	11.1	10.8	9.6	10.1	10.3	10.2	9.3	8.0	8.96	9.4	10.2	-	-
利用率	60.2%	62.6%	55.5%	54.0%	48.0%	50.5%	51.5%	51.0%	46.5%	40.2%	44.8%	47.0%	51.2%	-	-
訪問リハビリ延数	12	14	12	12	12	12	14	12	12	14	12	12	150	12.5	-
利用者実人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3	-
居宅介護支援延数	60	61	63	68	69	69	68	68	65	61	61	61	774	64.5	-
介護	60	60	61	64	65	65	64	64	62	59	58	58	740	-	-
予防	0	1	2	4	4	4	4	4	3	2	3	3	34	-	-

令和6年度 介護度別利用状況

(令和7年3月末現在)

【入所・短期入所】 介護度別利用者数

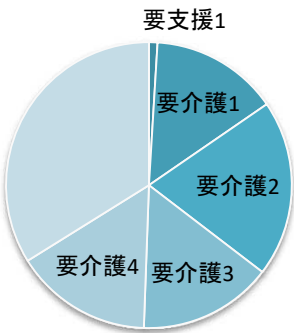
	年平均	比率
要介護1	17	13.8%
要介護2	30	24.2%
要介護3	24	19.5%
要介護4	39	31.3%
要介護5	14	11.1%
平均	3.02	

※月末時点



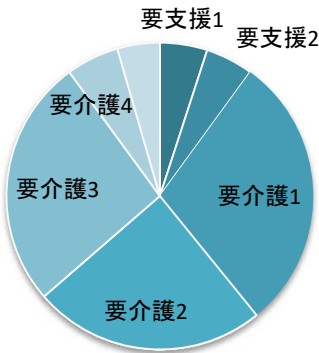
【短期入所療養介護】 介護度別利用日数

	年合計	比率
要支援1	0	0.0%
要支援2	7	1.0%
要介護1	105	14.5%
要介護2	145	20.0%
要介護3	110	15.2%
要介護4	113	15.6%
要介護5	246	33.9%
合計	726	



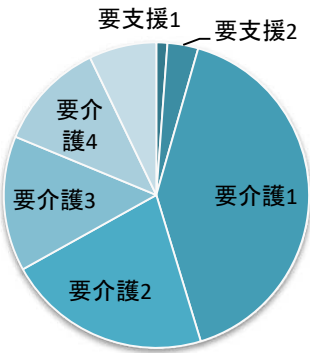
【(介護予防)通所リハ】 介護度別通所回数

	年合計	比率
要支援1	159	5.0%
要支援2	159	5.0%
要介護1	922	29.1%
要介護2	776	24.5%
要介護3	834	26.3%
要介護4	177	5.6%
要介護5	142	4.5%
合計	3,169	



【居宅介護支援】 介護度別利用者数

	年平均	比率
要支援1	0.8	1.2%
要支援2	2.1	3.3%
要介護1	26.2	40.9%
要介護2	13.8	21.6%
要介護3	9.2	14.3%
要介護4	7.4	11.6%
要介護5	4.6	7.2%
合計	64.0	



ケアハウス エスペランザ

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区金の隈 3-24-53
施設長氏名	庄山 和子
事業開始年月日	平成 8 年 4 月 26 日
実施事業・定員	軽費老人ホーム（定員 150 名）

2. 沿革

平成 8 年 4 月 5 日	ケアハウス エスペランザ 認可
平成 8 年 4 月 26 日	ケアハウス エスペランザ 開設

3. 事業経過

（1）施設利用状況

入居者数は月平均 141.3 名/150 名(毎月末時点)、入居率 94.2%であった。年間の居室移動を除く新規入居は 24 名と前年と同数で、退居者数が 22 名で前年に比べ 5 名減少している。退居先は病院が 1 名、死亡が 7 名、法人内老人保健施設（フラワーハウス博多）に入所が 9 名、有料老人ホームが 2 名だった。

年度末時点の平均年齢は、84.5 歳（男性 81.9 歳、女性 85.8 歳）で、最高年齢は女性の 103 歳である。

介護認定率は年度平均 65.8%で、前年度に比べて減少している。介護サービス別では、昨年度とほとんど変わりはなく、フラワーデイケアの利用が増えている。今後も居宅サービス事業所と連携しながら、入居者が安全で安心して生活できるよう支援していく。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動報告

すべての会議・委員会において多職種で構成し、情報の共有を図っている。特に、新規入居受入時、入居者の介護プラン変更時、入居者間のトラブル等生じた際など、入居者の情報をすぐに共有する必要がある場合は、事故等が発生しないよう都度開催している。

② 行事实施報告

○ラジオ体操(毎日)※新型コロナウイルス陽性者発生時、療養期間終了まで中止

○敬老会は感染状況を鑑みて敬老式典と特別食の実施としたが、納涼祭、忘年会の催しについては、感染症発生のため中止し、特別食の提供のみに留めた。特に忘年会については、職員、入居者ともに準備を行いながら、直前での中止となったため、来年度は予備日を設定して行事を計画する。

○レクリエーション(毎月)

レクリエーションについてもピアノ演奏会や、職員が参加するゲームを行うことで参加者も大幅に増え、生活上の楽しみにつながっている。

③ 研修実施報告

福祉レクリエーション・新任職員研修、高齢者虐待防止・権利擁護研修・救命救急研修・苦情解決従事者研修等、外部の研修に参加した他、法定研修についてはオンラインを活用したサービスを活用することで充実化を図った。研修参加後は、施設内において全職員で勉強会を開催し、情報の共有を図った。役職者については法人全体でプレリーダー研修が行われ、研修内容を現場に還元することで組織全体の活性化につながっている。

④ 苦情

・発生件数 12 件 解決件数 12 件

第三者委員会へ報告する事案はなし。

昨年と比べて 1 件増加している。今年苦情は、利用者の直接的なトラブルではなく生活上でのモラルやマナーに当てはまるものが多く、共同生活であるため共用で使用するものや使い方等に関してはルールを守っていただくよう努めている。今後も職員間で情報共有・連携することで解決できるよう努めていく。

⑤ 事故報告（インシデント 18 件含む）

分類	転倒	転落	誤薬	感染症	その他	計
件数	32 件	1 件	1 件	20 件	1 件	55 件

事故件数は、昨年の 44 件から 11 件増加した。事故種別は、今年度も「転倒」が多かったが、転倒事故は昨年度より 5 件減少し、骨折に至る事故については昨年の 6 件と同数だった。感染症については季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症によるもので 16 件増加した。年度末に発生した新型コロナウイルス感染症は食事の席が近い利用者で主に発生したが 10 日程度で収束となった。

居室での転倒が多く原因が不明確なものも多いため、職員間での情報共有、ケアマネやヘルパーなどと日頃よりしっかりコミュニケーションを図り、福祉用具を活用し再発防止に努めたい。感染症に関しては、状況に応じて感染防止の呼びかけ、消毒、換気、マスク着用の徹底等、入居者の予防意識を高めるための行動を行っており、全体として感染予防の意識は高く持っていていてい

⑥ 地域交流・ボランティア

本部・洺寿園・フラワーハウス・エスペランザから職員が分担して、金の隈地区の美化活動等に参加している。また、相談員が中心となって買物送迎や町内との交流も増えている。今年度ボランティアを招くことはできなかったが、ボランティアも含めた交流を計画していきたい。

⑦ その他

防災訓練について、今年度は9月(火災・消防訓練)、3月(土砂災害・消防訓練)共に実施し入居者へ避難経路について確認することができた。また、BCP訓練・研修も義務化されており、防災用品の整備も徐々に進んでいる。

4. 総 括

【利用者の今後の見通しと対策】

新型コロナウイルス感染症が夏季と冬季に流行し、エスペランザもその影響を受けた。また、行事の時期に重なることで今期は入居者の楽しみの機会を提供できなかったため来年度は予備日を設けていき対応していく。

面会は徐々に制限を緩和し、家族と接する時間を増やしている。介護保険の認定割合や転倒事故は減少しているが、感染症が増加したため、状況に応じて感染予防・対策を行いつつ、面会緩和や行事を実施していきたい。平均入居者数が過去5年間で昨年度、今年度は比較的低い状況にある。フローリング改装も約3分の1が終了したことや問い合わせが増えている状況であるため入居率のさらなる向上を目指していきたい。

【職員状況の見通しと対策】

令和6年度は、年度途中に正規職員1名が加わり12名(正9非3)にての対応となっている。配置基準は満たしているものの、採用・研修委員会で導き出した独自の配置基準に若干足りない状況である。体調不良等により1名でも欠くと一人ひとりの負担が大きくなるため独自の配置基準を満たし余裕のある運営ができるよう採用活動を行っていく。夜間委託の警備員を含め、緊急時の対応など迅速に行うことができるようチームとしての意識を持ち支援にあたっていく。

【施設・設備の状況など】

居室のフローリング改装については、予定していた件数の施工が完了している。今年度から改装に合わせ換気扇の交換も行っており、居住空間をより快適にしていけるようにしている。

昨年度のエレベーターや空調ほど大きな修繕は生じなかったものの、浴室の修繕やスロープの修繕など所々劣化が見られる部分があり修繕を行った。また、補助金事業ではブロック塀の修繕を行い無事終了した。

【参考資料】 令和6年度統計資料

ケアハウス エスペランザ

①施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延数	月平均	比率
月末利用者数	139	138	141	142	140	141	143	144	144	143	141	139	1,695	141.25	-
男性	38	38	42	44	43	44	47	47	47	46	45	45	526	43.83	31.0%
女性	101	100	99	98	97	97	96	97	97	97	96	94	1,169	97.42	69.0%
入居率 (%)	92.7	92.0	94.0	94.7	93.3	94.0	95.3	96.0	96.0	95.3	94.0	92.7	1,130	94.17	-

新規入居者数	3	1	5	2	2	2	4	2	2	1	0	0	24	2.0	-
自 宅	3	0	5	1	1	1	2	0	2	1	0	0	16	-	66.7%
医療機関	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	-	4.2%
ケアハウス	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	-	8.3%
有料老人ホーム・サ高住	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	-	8.3%
介護老人保健施設(ワケア)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	-	4.2%
特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
居室移動	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	-	8.3%

退居者数	1	2	2	1	4	1	2	1	2	2	2	2	22	1.8	-
自 宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
医療機関	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	-	4.5%
有料老人ホーム・サ高住	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	-	9.1%
特別養護老人ホーム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	4.5%
介護老人保健施設(ワケア)	1	1	1	0	1	0	0	0	2	2	1	0	9	-	40.9%
介護老人保健施設(法人外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
死 亡	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	7	-	31.8%
居室移動	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	-	9.1%

②要介護認定状況【月別平均人数】

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定率
29.7	29.8	22.6	6.9	3.0	1.0	0.0	65.8%

③介護サービス利用状況【月別平均利用者数】

訪問介護	60.0人
訪問看護	6.1人
通所リハ	28.5人
通所介護	15.3人
訪問リハ	4.9人
福祉用具貸与	63.3人

特別養護老人ホーム 東かなまち桜園

1. 施設概要

施設所在地	東京都葛飾区東金町 2-13-10
施設長氏名	山岡 寿
事業開始年月日	平成 25 年 4 月 1 日
実施事業・定員	介護老人福祉施設（定員 140 名） （介護予防）短期入所生活介護（定員 20 名）

2. 沿革

平成 25 年 3 月 29 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 認可
平成 25 年 4 月 1 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開園
平成 25 年 3 月 25 日	（介護予防）短期入所生活介護事業所認可
平成 25 年 4 月 1 日	（介護予防）短期入所生活介護事業所開園
平成 28 年 6 月 15 日	喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者） 登録

3. 事業経過

（1）施設利用状況

① 介護老人福祉施設

年間利用者延数は 48,231 人（1 日平均 132.1 人／稼働率 94.4%）となり、前年度より 517 人増加し、令和 6 年度の目標としていた稼働率維持（93%）をクリアし、対前年度 1.3 ポイント増加した。一時、入院件数の増等により、第 2 四半期の頃に稼働率が低下（7 月…93.3%、8 月…92.9%、9 月…91.8%）したものの、何とか持ち堪えることができた。

令和 4 年度から令和 5 年度にかけて飛躍的に回復した稼働率を令和 6 年度も維持することができ、目標を達成することができた。

令和 7 年度も、在籍者満床の継続を意識して入居者の確保に努めるとともに、入居者が健康を維持し、安心した生活を送れるよう状態観察や事故防止のレベルアップを図っていく。

②（介護予防）短期入所生活介護事業

年間利用者延数は 5,682 人（1 日平均 15.6 人／利用率 77.8%）となり、前年度より 166 人微減となったものの、概ね順調に推移した。リピーターの確保や緊急ショート of the 積極的な受入れも好調の要因である。

令和 7 年度は、特養の満床が続けば入居待機者が増える見込みであるため、待機者をショートステイで受け入れ、特養のスムーズな入居に繋がられるよう連携を図っていく。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動報告

運営会議をはじめとして、各部門連携会議、フロア会議、ユニット会議のほか各委員会を設置している。各会議・委員会は、多職種の職員で構成されており、議事録は全職員が閲覧出来るようにして情報共有を図っている。

② 行事実施報告

レク・行事委員会を中心に、年間の行事計画を立案し、活動を行っている。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行に伴い、昨年度から再開した夏祭りや敬老会を令和6年度も開催することができた。感染症に十分注意し、各ユニットで工夫を凝らして行事活動を行い、入居者に喜んでいただけた。

③ 研修実施報告

施設内研修は、オンラインの法定研修を導入し、職員各自で研修動画を視聴して各テーマの知識を深め、レベルの向上を図った。法人主催のリーダー研修に引き続き、令和6年度はサブリーダークラスの職員が参加し、リーダースキルの習得に努めている。

④ 苦情

・受付件数 1件

法人や苦情第三者委員への報告には至らなかったが、入居者の持ち帰りの洗濯物に他者のタオル等が混入するという衛生管理上の問題について、家族からの苦情があった。

⑤ 事故報告

・行政報告事故 36件

(骨折事故 27件、皮膚剥離 1件、疥癬 3件、インフルエンザ 4件、新型コロナウイルス 1件)

行政報告件数は前年度よりも16件増加し、うち骨折事故件数は9件増加となり圧倒的に多く、移動介助の際には十分注意する必要がある。

職員の不注意や確認不足に起因する事故については、事故の原因を究明し、再発防止につとめていく。

⑥ 地域交流

昨年度復活した金町第一団地の夏祭りに、令和6年度も数名の入居者が参加することができた。

その他の地域交流としては、施設内の地域交流室を利用した地域包括支援センター主催の勉強会や、認知症高齢者家族会、地域の研修会等行われている。

⑦ ボランティア

感染対策を徹底し、地域の中学校2校7名を職場体験として受け入れた。入居者との直接的な触れ合いはできなかったが、特別養護老人ホームがどのような職場であるか、感じてもらうことができた。

また、介護相談員の受入れを再開することができた。

4. 総 括

事業実績と課題への対応

令和6年度の稼働率は、前年度を上回り、特養と短期入所を合わせて92.3%となり、目標としていた93%には僅かに届かなかったものの、堅調に推移することができた。

特養の在籍者数も多少変動はあるものの、入居契約済みの待機者も複数名あり安定した状況である。今後、不測の事態が起きることもあり楽観的に見ることはできないが、現状では新規入居者を急いで確保する必要はなく、入居申込から契約までの期間をさらに効率化していきたい。

昨年度に引き続き稼働率の維持・向上により収入の状況も大きく改善され、前年度と比較し3,850万円増となった。

本来、支出で大きな割合を占める人件費であるが、介護職員の採用が十分とまでは言えないものの概ね確保できたが、一方で福岡からの応援部隊が引き揚げ、結果として対前年度300万円減となり、人件費抑制が図られた。

今後も健全な財務体制を維持するため、昨年度から取り入れたフロアリーダー制のもと、介護職員の配置とユニット固定配置を基本としつつ、フロア単位で介護職員を柔軟に対応させ人員の効率化を図っていく。フロアリーダー制の導入やフロア単位での介護職員のサポート体制の構築は概ね良好な結果であると考えており、しっかりと定着を図っていききたい。

介護職員の確保は必ずしも十分とは言えないが、そこを補う方策として日雇いでの雇用契約斡旋業者を活用しており、ある程度の成果を得ている。また、この業者を利用して当施設に勤務したことを契機に4名の職員が就職しており、この4名に関しては費用が発生しておらず、この結果、これまで多額の支出をしていた紹介手数料は抑制傾向にある。

また、職員の定着率の向上を図る取り組みとして、昨年度途中から新規採用者に対して、採用初日から3日間かけて各部門協力のもと新入職員オリエンテーションを実施している。まだ目に見えるデータはないが、今後、定着率の向上に寄与するものと考えている。

更に、今後はICTの導入やノーリフトケアをはじめとする介護機器の活用により生産性の向上を図り、少ない人数で質の良い介護サービス提供ができる環境をつくること、また、介護職員が本来業務に集中できるための介護補助職員の採用や、現に進めている介護福祉士資格を有する外国人の採用を躊躇することなく進めることで介護職員の確保を推進したい。

法人本部主催のサブリーダー研修は、ユニットリーダー等の資質向上に寄与することとなり効果があったと考える。今後も、リーダー層の職員の資質向上をはかり、人材育成や職場の活性化につながればと考える。

ここ2、3年は施設の老朽化による修繕費や備品購入に費用がかさみ、予期せぬ支出が増加している。今後数年はこのような状況が続くと考えられるが、現状ではその都度対応するしかない状況である。

令和 6 年度決算では、昨年度に引き続き黒字決算となっており、拠点区分間繰入金収入 2,000 万円を差し引いても黒字を計上している。視点を変えれば、職員採用が十分でなく人件費が抑制されたための結果であるとの評価もできる。いずれにしても、職員の確保を適切に行うと同時に高稼働率を維持しつつ、経費の効率化を図り、自立した施設経営・施設運営を目指すとともに、職員にとって働きやすく、地域に根ざし、地域から必要とされる施設として存在したい。

①施設利用状況（入所及び退所・月別延べ入所率）

	月間入所者数				月間退所者数					月間延べ 入所者数	平均入所 率（％）
	家庭	施設	病院	計	家庭	施設	病院	死亡	計		
4	1	2	1	4	1				1	4,063	96.7
5				0				1	1	4,167	96.0
6	2			2				3	3	3,929	93.5
7	1	1		2				4	4	4,048	93.3
8	1	2	1	4				4	4	4,031	92.9
9	3		2	5			2	2	4	3,856	91.8
10	1	3	2	6			4	1	5	4,044	93.2
11	1	1		2				1	1	4,041	96.2
12	1			1				2	2	4,157	95.8
1		1	2	3			1	3	4	4,120	94.9
2	3	1		4				4	4	3,683	94.0
3		2	1	3			1	4	5	4,092	94.3
計	14	13	9	36	1	0	8	29	38	48,231	94.4

②施設利用状況（入所期間）

区分	男（人）	女（人）	計（人）
1年未満	10	18	28
1～2年未満	5	21	26
2～3年未満	8	25	33
3～4年未満	1	10	11
4～5年未満	2	9	11
5～6年未満	1	5	6
6～7年未満	2	3	5
7～8年未満	0	4	4
8～9年未満	0	2	2
9～10年未満	0	0	0
10年以上	2	7	9
計	31	104	135

③施設利用状況（年齢別）

区分	男（人）	女（人）	計（人）
60歳未満	1		1
60歳～64歳	2	1	3
65歳～69歳	4		4
70歳～74歳	3	4	7
75歳～79歳	5	9	14
80歳～84歳	6	12	18
85歳～89歳	3	40	43
90歳～94歳	5	23	28
95歳～99歳	2	13	15
100歳～		2	2
合計	31	104	135
平均年齢	79.3	87.4	85.5
最高年齢			

④施設利用状況（介護度別）

要介護度	男（人）	女（人）	計（人）
要介護 1	0	0	0
要介護 2	4	12	16
要介護 3	13	34	47
要介護 4	12	23	35
要介護 5	2	35	37
合計	31	104	135
平均	3.4	3.8	3.7

⑤保険者別数

保険者	男（人）	女（人）	計（人）
葛飾区	30	97	127
江東区	1	1	2
足立区		3	3
墨田区			0
千葉市若葉区			0
柏市			0
三郷市	1	1	2
八潮市		1	1
計	32	103	135

⑥健康保険の加入状況

保険の種類	男（人）	女（人）	計（人）
後期高齢者	23	93	116
国民健康保険	6	2	8
社会保険	1	1	2
医療扶助	2	7	9
組合			0
計	32	103	135

⑦身体障がい者手帳所持状況（人）

※重複を含む

等級	1級		2級		3級	
区分性別	男	女	男	女	男	女
視覚						
聴覚						
四肢体幹	3			2		6
内部		3		1		1
男女別計	3	3	0	3	0	7
計	6		3		7	

等級	4級		5級		6級	
区分性別	男	女	男	女	男	女
視覚						1
聴覚						
四肢体幹		3		1		
内部		1				
男女別計	0	4	0	1	0	1
計	4		1		1	

①施設利用状況（入所・月別延べ入所率）

	月間入所者数			月間延べ 入所者数	平均入所 率（％）	平均 介護度	平均 年齢
	新規	既存	計				
4	2	50	52	441	73.5	3.2	85.1
5	3	52	55	495	79.8	3.4	86.8
6	9	43	52	413	68.8	3.15	85.6
7	7	48	55	446	71.9	3.2	86.3
8	8	53	61	520	83.9	3.24	86.1
9	7	54	61	475	79.2	3.16	85.6
10	7	58	65	490	79.0	3.4	84.5
11	5	58	63	483	80.5	3.1	85.7
12	7	59	66	479	77.3	3.1	86.5
1	4	55	59	510	82.3	3.3	85.7
2	6	53	59	448	80.0	3.1	85.1
3	12	50	62	482	77.7	3.15	86.1
計	77	633	710	5,682	77.8	3.2	85.8

②介護度別利用日数

区分	年合計（日）	比率（％）
要支援1	6	0.1
要支援2	20	0.4
要介護1	375	6.6
要介護2	1,067	18.8
要介護3	1,708	30.1
要介護4	1,225	21.6
要介護5	1,281	22.5
合計	5,682	100

社会福祉法人清風会

保育園

月別利用状況

令和6年度

施設名	区分	定員		利用状況												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
御幸	保育園	300	月初在籍	295	295	299	304	304	304	304	304	304	304	304	304	302.1
			利用率	98.3%	98.3%	99.7%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	100.7%
	小規模 家庭的	15	月初在籍	7	8	8	9	9	9	11	11	12	12	13	13	10.2
			利用率	46.7%	53.3%	53.3%	60.0%	60.0%	60.0%	73.3%	73.3%	80.0%	80.0%	86.7%	86.7%	67.8%
五十川	保育園 (分園含)	309	月初在籍	306	307	308	309	311	311	311	311	311	310	310	310	309.6
			利用率	99.0%	99.4%	99.7%	100.0%	100.6%	100.6%	100.6%	100.6%	100.6%	100.3%	100.3%	100.3%	100.2%
	小規模	27	月初在籍	17	19	19	20	21	23	24	24	25	25	25	25	22.3
			利用率	63.0%	70.4%	70.4%	74.1%	77.8%	85.2%	88.9%	88.9%	92.6%	92.6%	92.6%	92.6%	82.4%
香住ヶ丘	保育園 (分園含)	324	月初在籍	299	303	305	305	303	305	303	305	310	312	312	313	306.3
			利用率	92.3%	93.5%	94.1%	94.1%	93.5%	94.1%	93.5%	94.1%	95.7%	96.3%	96.3%	96.6%	94.5%
大塚第一	保育園	130	月初在籍	115	115	116	116	116	116	117	119	119	120	120	118	117.3
			利用率	88.5%	88.5%	89.2%	89.2%	89.2%	89.2%	90.0%	91.5%	91.5%	92.3%	92.3%	90.8%	90.2%
大塚第二	保育園	130	月初在籍	117	118	118	117	119	119	119	119	119	119	120	118	118.5
			利用率	90.0%	90.8%	90.8%	90.0%	91.5%	91.5%	91.5%	91.5%	91.5%	91.5%	92.3%	90.8%	91.2%
日の里東	保育園	160	月初在籍	151	153	154	154	156	156	157	157	157	157	160	155.8	
			利用率	94.4%	95.6%	96.3%	96.3%	97.5%	97.5%	98.1%	98.1%	98.1%	98.1%	98.1%	100.0%	97.3%
平等寺	保育園	200	月初在籍	157	158	159	163	163	164	164	164	164	164	164	162.3	
			利用率	78.5%	79.0%	79.5%	81.5%	81.5%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	81.2%
東かなまち	保育園	130	月初在籍	126	127	127	128	131	131	131	131	131	131	131	129.7	
			利用率	96.9%	97.7%	97.7%	98.5%	100.8%	100.8%	100.8%	100.8%	100.8%	100.8%	100.8%	100.8%	99.7%
合計		1,725	月初在籍	1,590	1,603	1,613	1,625	1,633	1,638	1,641	1,645	1,652	1,654	1,656	1,633.8	
			利用率	92.2%	92.9%	93.5%	94.2%	94.7%	95.0%	95.1%	95.4%	95.8%	95.9%	96.0%	96.0%	94.7%

在園児 月間集計表

【御幸保育園】

	本園						家庭的保育事業 てんとうむし			小規模保育所 クローバー			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	0歳	1歳	2歳	
定数	30	52	53	55	55	55	1	2	2	2	4	4	315
4月	22	52	52	56	57	56	0	2	2	0	1	2	302
5月	23	52	51	56	57	56	0	2	2	0	2	2	303
6月	26	52	51	56	57	57	0	2	2	0	2	2	307
7月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	0	2	2	313
8月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	0	2	2	313
9月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	0	2	2	313
10月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	1	3	2	315
11月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	1	3	2	315
12月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	1	3	3	316
1月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	1	3	3	316
2月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	2	3	3	317
3月	30	52	52	56	57	57	1	2	2	2	3	3	317
月平均	28.4	52.0	51.8	56.0	57.0	56.8	0.8	2.0	2.0	0.7	2.4	2.3	312.3
利用率	94.7%	100.0%	97.8%	101.8%	103.6%	103.3%	75.0%	100.0%	100.0%	33.3%	60.4%	58.3%	99.1%

【五十川保育園】

	本園						分園		小規模保育所			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	竹下	那珂	中央	
定数	21	40	48	60	60	60	9	11	9	9	9	336
4月	20	40	51	60	59	59	6	11	6	6	5	323
5月	20	40	51	60	60	59	6	11	6	6	7	326
6月	20	40	51	60	59	59	8	11	6	6	7	327
7月	21	40	51	60	59	59	8	11	6	6	8	329
8月	21	40	51	60	60	59	9	11	6	7	8	332
9月	21	40	51	60	60	59	9	11	8	7	8	334
10月	21	40	51	60	60	59	9	11	8	8	8	335
11月	21	40	51	60	60	59	9	11	8	8	8	335
12月	21	40	51	60	60	59	9	11	9	8	8	336
1月	21	40	51	60	60	58	9	11	9	8	8	335
2月	21	40	51	60	60	58	9	11	9	8	8	335
3月	21	40	51	60	60	58	9	11	9	8	8	335
月平均	20.8	40.0	51.0	60.0	59.8	58.8	8.3	11.0	7.5	7.2	7.6	331.8
利用率	98.8%	100.0%	106.3%	100.0%	99.6%	97.9%	92.6%	100.0%	83.3%	79.6%	84.3%	98.8%

在園児 月間集計表

【香住ヶ丘保育園】

	本園						分園		合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	
定数	20	40	54	62	62	62	12	12	324
4月	8	41	60	63	58	59	0	10	299
5月	9	42	60	63	59	59	0	11	303
6月	9	42	60	63	60	59	0	12	305
7月	9	42	60	63	60	59	0	12	305
8月	9	42	59	63	60	58	0	12	303
9月	9	42	60	63	60	59	0	12	305
10月	9	41	60	62	60	59	0	12	303
11月	9	42	60	62	60	60	0	12	305
12月	11	42	58	62	60	60	0	17	310
1月	11	42	59	61	61	60	0	18	312
2月	11	42	59	61	61	60	0	18	312
3月	11	42	60	61	61	60	0	18	313
月平均	9.6	41.8	59.6	62.3	60.0	59.3	0.0	13.7	306.3
利用率	47.9%	104.6%	110.3%	100.4%	96.8%	95.7%	0.0%	113.9%	94.5%

【日の里東保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	12	28	30	30	30	30	160
4月	6	27	29	30	30	29	151
5月	6	28	29	30	30	30	153
6月	7	27	30	30	30	30	154
7月	7	27	30	30	30	30	154
8月	9	27	30	30	30	30	156
9月	9	27	30	30	30	30	156
10月	9	28	30	30	30	30	157
11月	9	28	30	30	30	30	157
12月	9	28	30	30	30	30	157
1月	9	28	30	30	30	30	157
2月	9	28	30	30	30	30	157
3月	12	28	30	30	30	30	160
月平均	8.4	27.6	29.8	30.0	30.0	29.9	155.8
利用率	70.1%	98.5%	99.4%	100.0%	100.0%	99.7%	97.3%

【平等寺保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	12	26	30	44	44	44	200
4月	11	29	25	29	30	33	157
5月	11	29	25	30	30	33	158
6月	12	29	25	30	30	33	159
7月	14	29	27	30	30	33	163
8月	15	29	27	30	30	32	163
9月	15	29	28	30	30	32	164
10月	15	29	28	30	30	32	164
11月	15	29	28	30	30	32	164
12月	15	29	28	30	30	32	164
1月	15	29	28	30	30	32	164
2月	15	29	28	30	30	32	164
3月	15	29	28	30	30	32	164
月平均	14.0	29.0	27.1	29.9	30.0	32.3	162.3
利用率	116.7%	111.5%	90.3%	68.0%	68.2%	73.5%	81.2%

在園児 月間集計表

【東かなまち保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	12	20	24	24	25	25	130
4月	7	20	24	25	25	25	126
5月	8	20	24	25	25	25	127
6月	8	20	24	25	25	25	127
7月	9	20	24	25	25	25	128
8月	12	20	24	25	25	25	131
9月	12	20	24	25	25	25	131
10月	12	20	24	25	25	25	131
11月	12	20	24	25	25	25	131
12月	12	20	24	25	25	25	131
1月	12	20	24	25	25	25	131
2月	12	20	24	25	25	25	131
3月	12	20	24	25	25	25	131
月平均	10.7	20.0	24.0	25.0	25.0	25.0	129.7
利用率	88.9%	100.0%	100.0%	104.2%	100.0%	100.0%	99.7%

【大塚第一保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	9	20	23	26	26	26	130
4月	7	18	25	21	22	22	115
5月	7	18	25	21	22	22	115
6月	8	18	25	21	22	22	116
7月	10	18	23	21	22	22	116
8月	10	18	23	21	22	22	116
9月	12	17	22	21	22	22	116
10月	12	17	22	22	22	22	117
11月	12	17	23	22	22	23	119
12月	12	18	23	21	22	23	119
1月	12	19	23	21	22	23	120
2月	12	18	24	21	22	23	120
3月	12	18	23	21	21	23	118
月平均	10.5	17.8	23.4	21.2	21.9	22.4	117.3
利用率	116.7%	89.2%	101.8%	81.4%	84.3%	86.2%	90.2%

【大塚第二保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	9	20	23	26	26	26	130
4月	10	20	23	23	19	22	117
5月	11	20	23	23	19	22	118
6月	12	20	22	23	19	22	118
7月	11	20	22	23	19	22	117
8月	12	20	23	23	19	22	119
9月	12	20	23	23	19	22	119
10月	12	20	23	23	19	22	119
11月	12	20	23	23	19	22	119
12月	12	20	23	23	19	22	119
1月	12	20	23	23	19	22	119
2月	12	20	24	23	19	22	120
3月	12	20	24	22	19	21	118
月平均	11.7	20.0	23.0	22.9	19.0	21.9	118.5
利用率	129.6%	100.0%	100.0%	88.1%	73.1%	84.3%	91.2%

御幸保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市東区千早 6-8-14
施設長氏名	松本 美和
事業開始年月日	昭和 51 年 5 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 300 名） 小規模保育事業（定員 10 名） 家庭的保育事業（定員 5 名）

2. 沿革

昭和 51 年 5 月	御幸保育園 開設許可・事業開始
昭和 51 年 4 月	100 名定員
昭和 54 年	150 名定員に変更
平成 5 年 6 月 1 日	170 名定員に変更
平成 12 年	増築・大型改修 225 名定員に変更
平成 15 年 2 月	御幸保育園保母休息室改修
平成 17 年 3 月	御幸保育園 0 歳児のトイレ改修
平成 25 年	園舎増改築工事
平成 26 年	園舎改築工事完成(27 年 2 月 23 日新園舎)
	265 名定員に変更
平成 30 年度	300 名定員に変更

3. 事業経過

（１）施設利用状況

令和 6 年度は、本園・小規模保育・家庭的保育と合計して、月平均 312.3 名(利用率：99.1%) の園児を受け入れ、年間を通してほぼ安定した園児数を確保することができました。本園は月平均 302 名（利用率 100.4%）の園児を受け入れました。4 月当初 0 歳児クラスが 30 人の定員に対し、22 名での受け入れになりましたが、6 月末には定員に達しました。今年度は 0 歳児クラスの見学も多く、待機の方も多くいました。小規模保育事業は、3 名スタートで月平均 6 名(利用率 60%)、10 月から増え最終 8 人の園児になりました。家庭的保育事業も 4 名スタートで月平均 5 名(100%)でした。家庭的も 7 月には定員になり安定した園児数でした。令和 6 年度においては、本園・小規模・家庭的全て順調に園児を確保できました。

（２）運営報告

① 会議・委員会活動報告

職員会議、小規模会議をはじめとし、定期的に保育の質向上のための会議を開催し、保育内容の改善に取り組んでいます。このほか給食に関する会議も開催し、給食の質についても向上を図っています。

② 行事・広報実施報告

令和 6 年度は、行事の内容や実施方法の見直しをしました。
また、父母の会と合同で、夏祭りを開催しました。
子ども達にも保護者にも喜んでいただき、楽しいイベントが増えました。
広報活動として、地域の子育てサークルに力を入れました。名前も『ひよっこ

サークル』と改め年間の活動を計画にしました。見学の際にプリント配布し、Instagramにも日程と活動内容をアップしました。人数はそう多くありませんが定期的に参加される方もいました。

③ 研修実施報告

専門的な保育の知識習得、「保育の質」向上のため、外部研修の参加やオンラインを利用し、多くの職員が参加できるようにしてきました。危機管理や不適切保育の研修については、自発的に発言できる研修のスタイルを取り入れ、工夫しました。

④ 苦情

・発生件数 6件 駐車場・交通状況に関する苦情 6件

駐車場・交通状況に関する苦情に対しては、門扉の工事や園内の駐車場のルールの変更を行うことで解決を図りました。

⑤ 事故報告

・福岡市に報告するような該当事項はありませんでした。

⑥ 地域交流・ボランティア

6年度も地域の秋祭りやイベントに参加することが出来ました。

4. 総 括

令和6年度は、御幸保育園は295名からスタートし順調に入所児も増え6月中旬には定員に達しました。クローバー・てんとうむしも4月より順調に園児が入所し、てんとうむしは6月末で定員、クローバーも2月には8名のお預かりをしました。近隣マンション建設が大きな要因で、年間通して見学も例年以上に多く、令和7年度への園児確保も視野に入れて見学の対応の充実を行いました。また、見学の方には、子育てサークルの年間予定表を渡しアピールをすることで、子育てサークルの定着、園児獲得へと繋げていくことが出来ました。

マンション建設の影響が保育園前の道路の渋滞が頻繁に起き、地域住民より保育園に対して苦情が多く発生しました。門扉の拡大工事の実施し、ルールを変更する事により以前より渋滞が軽減されています。地域に交通渋滞で迷惑をかけることが多いので、御幸保育園として地域に貢献できるように考えています。

今年度は専門学校と関係性を深く築くことができ、年間を通して学生の実習はもちろんのこと、見学や体験、イベントの手伝いなどで来園する機会が多くありました。また、ピタカフェや他の学校からの実習等も充実した1年でした。その成果が採用に繋がり新人職員を3名迎え入れる事が出来ました。引き続き、養成校とのつながりを大切に実習やイベントの受け入れを行い、職員にとっても学生にとっても充実したコミュニケーションの場にしていきます。

職員研鑽の場として職員会議の見直しをしました。情報の共有だけの場ではなく対話の場・コミュニケーションの促進の場として活発な議論が出来る会議を目指しています。毎月、決めたテーマを設定し、グループ討議を行い発表するなどを取り入れています。

これからも一つ一つ課題を改善し、子ども達・職員・保護者が協力し、元気に楽しく共に育ちいく施設を目指していきます。

日の里東保育園

1. 施設概要

施設所在地	宗像市日の里 5 丁目 3-1
施設長氏名	中嶋 智恵
事業開始年月日	昭和 51 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 160 名）

2. 沿革

昭和 51 年 4 月 1 日	社会福祉法人 清風会 設立認可 定員 60 名で開設
昭和 51 年 9 月 1 日	定員 120 名に変更
平成 11 年 3 月 15 日	2 階保育室 3 部屋改装・ホール・沐浴室等設置
平成 12 年 3 月	1 階保育室 3 部屋改装
平成 13 年 10 月 31 日	事務所・厨房等改修工事
平成 21 年 3 月	園庭門扉工事
平成 22 年	2 階園児用便所改修工事・建物壁面塗装工事
平成 23 年 2 月	避難用滑り台設置工事
平成 25 年	外壁フェンス・園庭・フェンス塗装改修工事
平成 26 年度	園舎改築工事、園舎完成
平成 27 年	定員 160 名に変更

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和 6 年度は 151 名でスタートし、月平均 155.8 名（利用率：97.3%）の園児を受け入れました。見学の方も例年に比べ多く、3 月で定員の 160 名となりました。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動報告

月 1 回の職員会議を始めとして、今年度より体育委員会、保健給食委員会、美化委員会、情報委員会、危機管理委員会を作り委員会活動をはじめました。毎月職員会議の時にそれぞれの委員会の報告を行いました。Instagram 配信の情報委員の活動がなかなかうまくいかず今後の課題となりました。また、月に 1 回、以上児、未満児クラスのそれぞれのリーダーと悩み事や困りごとなどを聞いて積極的な意見交換やアドバイスを行い、より良い保育を目指しました。

② 行事実施報告

保護者参加の行事は子ども達の成長を見せる良い機会であり、子ども達の張り切っている姿を見せることができました。後半の保育参観の未満児クラスは保護者の方と触れ合い遊びや保護者同士の交流が出来、好評でした。

③ 研修実施報告

外部で受けた研修は研修報告書などで全職員が情報を共有できるようにしています。姉妹園間で行われた視察研修では、見て聞いて学んだことなどを園内研修で報告し参考にさせていただきました。

④ 地域交流・ボランティア

地域開放事業は状況により中止される場合もありましたが、園児と一緒に遊んだり、保護者同士の交流の場となりました。また、参加された保護者の育児相談を行うなど、保育園が地域の方にとって身近な存在となるように努めました。令和 6 年度はキャンセル待ちが出るほどでした。また、町内の敬老会の方々を保育園へ招いて交流会を行いました。けん玉、折り紙、縄跳びなど披露しその後一緒にふれあい遊びをしました。小学 2 年生の校区探検では保育園に来て保育園はどんなところか知ってもらいました。

⑤ 苦情報告

第三者委員に報告する事案はなく、苦情に該当する内容も特にはありませんでした。

⑥ 事故報告書

宗像市に報告する事故が 1 件ありました。(3 歳児鎖骨骨折)

4. 総 括

今年度は特定非営利活動法人福祉総合評価機構で第三者評価を受審しました。受審するにあたり職員で理念や保育目標、保育方針などを再確認し、全職員に周知することが出来ました。今年度より保育の内容を一斉保育から少人数制への移行を進めています。また、職員が同じ気持ちで保育できるように意見交換などを行いながら進めていきました。「子ども主体とする保育を目指す」という考えも少しずつですが共有できたと感じました。今後の課題として保護者アンケートなどをとり、保護者の意見や要望などを知り、保護者の方が安心して預けていただけるようにさらに信頼関係を築いていけるよう努力し、子ども達が楽しく登園できるような保育室になるように見直していきたいです。今年度も宗像市子ども育成課と宗像保育士協会と協力の取組で近隣の養成校まわりや宗像保育フェアに参加して今年度はパート職員 1 名と短大からの実習生の受け入れに繋がりました。引き続き養成校まわりや保育フェアに参加し職員確保に努めて参ります。今後、働きやすい職場環境を整え、保育士同士のコミュニケーションをとりながら居心地の良い職場、保育の質の向上となるように努めてまいりたいと思います。

五十川保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区諸岡 3-22-7
施設長氏名	山下 裕子
事業開始年月日	昭和 53 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 289 名） 分園 第二五十川保育園（定員 20 名） 小規模保育事業 ・キッズルーム那珂 （定員 9 名） ・キッズルーム那珂中央（定員 9 名） ・キッズルーム竹下 （定員 9 名）

2. 沿革

昭和 52 年 9 月 6 日	社会福祉法人 北栄会 設立登記日
昭和 53 年 2 月 17 日	社会福祉法人 北栄会 設立認可 事業開始
昭和 53 年 4 月 11 日	定員 100 名
昭和 61 年 4 月 1 日	定員 120 名に変更
昭和 62 年 1 月 1 日	定員 140 名に変更
昭和 62 年 8 月 1 日	理事長交代
平成 5 年 4 月 1 日	定員 170 名に変更
平成 11 年 4 月 1 日	定員 200 名に変更
平成 23 年 9 月 1 日	家庭的保育室 2 部屋開所
平成 24 年 5 月 11 日	理事長交代
平成 24 年 10 月 1 日	北栄会は清風会に吸収合併
平成 26 年 4 月 1 日	小規模保育室 1 か所開所、合計 3 か所
平成 27 年 3 月 5 日	園舎増改築
平成 28 年 4 月 1 日	第二五十川保育園（分園）開園
平成 30 年 4 月 1 日	定員 309 名に変更

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和 6 年度の五十川保育園は分園と合計して、月平均 309.6 名（利用率 100.2%）の園児を受け入れ、年間を通してほぼ安定した園児数を確保することができました。3 ヶ所の小規模保育事業所は、月平均 22.3 名（利用率 82.4%）を確保しました。

令和 6 年度は本園と分園の 0 歳児入所が多く、直ぐに満員となりました。小規模保育は 0 歳児のみ 9 月まで空きがありましたが、9 月以降は受入枠がいっぱいになりました。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動

職員会議をはじめとし、ケース会議、給食会議、衛生管理委員会、以上児会議、未満児会議、小規模会議、保育検討委員会を行いました。担任だけで

なく、全職員に周知し、情報の共有を図っています。

② 行事・広報活動

令和6年度は、殆どの行事を以前の様に行いましたが、バザーのみ中止にしました。参観などは、分散型にして保護者の方に見て頂きました。また、フォトアルバムやInstagramには、園児の日常の楽しい様子をアップしました。

③ 実施研修報告

職員会議、以上児会議、未満児会議を利用して、保育の在り方や不適切保育について討議しました。また、全国で起こっている「不適切保育」について十分に研修を行い、保育士本人はもちろんの事、同僚や先輩が雑な保育を行っている場合は、注意をし合える風通しの良い職場にするように話し合いました。

④ 苦情

・受付件数 なし

問題になるような苦情はありませんでしたが、今後も、保護者から信頼される保育園となるよう、教育指導を徹底していきたいと思います。

⑤ 事故報告

・事故件数 なし

⑥ 地域交流・ボランティア

令和6年度も子育てサークル「つぼみサークル」に多くの参加がありました。その参加者が入所するケースが多く、五十川保育園を広く周知するツールになっています。また、見学依頼の電話の際には、「つぼみサークル」開催日にお誘いし、五十川保育園の保育の雰囲気を知って貰う様に促しました。

ベビーマッサージの資格を持っている退職した元職員が、ボランティアとして「ベビーマッサージ」を開催し、沢山の方に体験してもらいました。その後も思考を凝らして、色々なメニューを考え、カリキュラムを充実したり、持ち帰りのお土産を工夫したりと皆さんに喜んで頂き、リピーターも多くなりました。

「つぼみサークル」が新規園児獲得に繋がったり、地域の子育てに悩む方の悩み相談の場所になったりと、大変有意義な活動になりました。

五十川保育園は、小学校区は南区の「宮竹小学校」に所属しており、年長児が就学前に全員、宮竹小学校に招待を受け、一年生や六年生から歓迎をして頂き、これが就学の喜びに繋がりました。今後も地域の学校と連携を取って、共に子育てをしていきたいと思っています。

4. 総 括

大きな問題も無く、無事に令和6年度が終了しました。

4月の歓迎遠足・2月のマラソン大会は、ららぽーと福岡のグラウンドにて実施しました。保護者からは、「駐車場の心配がない」と喜びの声を頂いており、今後も利用させて頂きたいと思います。

令和6年度の安全対策補助金を利用して、0歳児の睡眠中事故防止の「ベビモニシステム」を導入しました。0歳児は睡眠中に5分に一度の「ブレスチェック」が必要で、職員は常に緊張を強いられていましたが、このシステム導入により2重チェックをすることが出来、職員の負担が大幅に減りました。保護者にも「安心な施設である」とのアピールが出来ました。

システムと保育士のチェックにて事故が起こらないように、今後も万全の対策を取っていきます。

感染症では、「嘔吐下痢症」が流行し、職員も毎日消毒や清掃に追われました。今後も感染症に気を付け、園児の健康に留意し衛生管理を徹底します。

現在、慢性的な保育士不足で、どの園も「人が回らない」「園児が受け入れられない」等の声を耳にします。博多の歴史ある認可保育園が令和6年度で休園になり、全国的にも大きなニュースになりました。

五十川保育園では、令和6年度は新卒の学生が4名入職しました。また、既卒が2名入職しましたが、その内の1名は、以前五十川保育園を退職した職員でしたが、「保育に戻りたい」と復職してくれました。

大変な事も多い仕事ですが、その何倍も遣り甲斐のある仕事です。広く学生や世間にアピールして、一人でも保育園で働く仲間を増やしたいと思います。

今後も保護者にも、また職員にも選択して頂ける「安心安全な施設」を目指し、日々の保育を大切に丁寧に行っていきます。その為に職員一同、力を合わせて努力していく所存です。

香住ヶ丘保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市東区香住ヶ丘 1-13-10
施設長氏名	伊藤 紀子
事業開始年月日	昭和 55 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 300 名） 分園事業（定員 24 名）

2. 沿革

昭和 55 年 4 月 1 日	保育園開設 定員 100 名
昭和 59 年 4 月 1 日	定員 120 名に変更
昭和 60 年 4 月 1 日	定員 140 名に変更
平成 4 年 4 月 1 日	定員 170 名に変更
平成 7 年 5 月 1 日	定員 190 名に変更
平成 8 年 5 月 1 日	定員 200 名に変更
平成 11 年 4 月 1 日	定員 240 名に変更
平成 21 年 12 月 1 日	定員 24 名の松香台分園開設
平成 22 年 4 月 1 日	定員 294 名に変更
平成 27 年 4 月 1 日	新園舎完成 定員 324 名に変更

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和 6 年度、本園 288 名、分園 10 名、昨年度より 1 名多くスタートしました。

（2）運営報告

・会議・委員会活動報告

職員会議では行事の進捗状況の報告や、予定行事の確認。ケース会議での子どもの情報共有。クラスミーティング、リーダーミーティング、事務所ミーティング等も計画的に行いました。

・行事実施報告

保育参観を各学年、年 2 回行い、1 回目は観察参観、2 回目は保護者参加型で実施しました。運動会、発表会、卒園式も予定通りに実施することができました

・研修実施報告

福岡市主催の『保育現場の魅力向上支援事業』に参加をしてみて職場環境や職員の意識の変化等はどうだったのか振り返りを皆で行うことができ、福岡市の担当者に報告することができました。

・苦情報告

2 件

- ・近隣より、園庭にある未満児用の固定遊具の場所を塀から離れたところに設置して欲しいというご意見を受けました。
- ・園児に保育士の手があたり爪で腕に薄く傷が入ったことで保護者からご意見を受けました。

- ・事故報告

無し

- ・地域交流・ボランティア

地域の高齢者の集いに参加し、ダンスと歌の披露し、コーラスサークルとの歌のコラボで楽しい時間を過ごしました。高齢者の方々にも喜んでいただけました。

4. 総 括

令和6年は姉妹園で学びあう場を持つための各園への視察研修を月1回実施しました。公開保育といった改まった感じではなく、日常の子どもの姿、職員の姿、保育を見てもらい、不適切保育の事前防止や保育の質の向上に繋げていくことを目的としました。当園では室内でどのような活動をするかを子ども達自身が見つけ活動している姿を観察してもらうことができたと思います。また職員も第三者の目で見ってもらうことで日常の保育で見落としでしまっていたことや、当たり前のように過ごしてしまっていたことに気づき改善することができたと思います。

また、新人職員を迎えたものの思い描く保育像とは異なったのか、早々に退職をしてしまうということがありました。年度末の保育士退職者も6名と多く、他の保育園でも働いてみたい、異業種に興味があるといった退職理由ではありました。当園では未満児は担当制保育、以上児は縦割保育を行っています。この保育についての研修は行っているものの、現場で実践する若手職員にとっては難しく感じる部分があるのではないかと、ベテラン保育士は仕事を丁寧に教えているつもりでも若手職員には伝わっていないのではないかとといった課題も見えてきました。次年度はそんなことを防いでいくためにもチェックリストを用い、途中での面談も取り入れていきたいと思っています。

乳児期に大切な愛着関係を築く未満児の担当制、自分で考える力をつけるように取り組んでいる以上児の縦割り保育。それぞれの良さを地域や保護者にアピールしながら子どもを第一に考え保育を行っていきたいです。

平等寺保育園

1. 施設概要

施設所在地	宗像市平等寺 465-1
施設長氏名	内野 安子
事業開始年月日	平成 16 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 200 名）

2. 沿革

平成 16 年 3 月	社会福祉法人 藤栄会 設立認可
平成 16 年 4 月 1 日	定員 60 名で開設
平成 17 年 4 月 1 日	定員 80 名に変更
平成 18 年 4 月 1 日	定員 100 名に変更
平成 20 年 4 月 1 日	一時保育室、地域子育て支援相談室、乳児受入拡大室を保育室として変更
平成 24 年 10 月 1 日	藤栄会は清風会に吸収合併
平成 31 年 4 月 1 日	定員 200 名に変更

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和 6 年度は 157 名でスタートしました。0 歳児の受入れは早い時期から定員数を満たし、月の平均利用数は 81.2%となりました。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動報告

月 1 回の職員会議を始めとして、給食会議、ケースワーク会議、クラス会議、行事会議を行いました。各会議の内容によっては、正規職員、パート職員と分けることもあります。各会議にリーダーを置き、職員が積極的に会議に取り組めるようにし、全職員に周知と情報の共有を図りました。

また、職員会議やクラス会議などで、保育の振り返りを行いクラスの出来事や悩みなどを共有し、問題解決を図りました。

② 行事実施報告

保護者参加の行事では、子ども達の様子や園の雰囲気を知ってもらうことで安心感を持っていただくことができました。また、個別懇談会を実施し家での様子を聞くことで、子どもの育ちを共有し、一緒に成長を見守ることができました。

③ 研修実施報告

園内研修担当者が研修計画作成をもとに、月に一度全職員が参加し保育の在り方や子どもへの接し方、また課題となっている事案について園内研修を行いました。外部研修ではオンライン研修に参加する機会を増やし、保育に関する情報取得など質の向上に努めました。

④ 地域交流・ボランティア

地域開放事業は例年より希望者が増えました。園や子どもの様子を知っていただいたり、参加された保護者の育児相談を行うなど、保育園が地域の方にとって身近な存在となるように努めました。

⑤ 苦情報告

第三者委員に報告する事案はなく、苦情に該当する内容も特にはありませんでした。今後も保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めていきたいと思っています。

⑥ 事故報告書

病院受診が29件あり、その内の2件は行政報告を行いました。2件とも戸外遊び中におきた怪我でしたので、改めて戸外での遊び方や遊具の使い方を見直し改善に努めたいと思います。

4. 総 括

令和6年度は、特定非営利活動法人 福祉総合評価機構における福祉サービス第三者評価を受審しました。保育理念や方針を職員で共通認識し、園の体制や取り組み、また個人の保育の在り方を見直すいい機会となりました。

「子ども主体の保育」を軸に保育士一人ひとりが、子どもの人権を尊重した丁寧な保育を心がけました。生活や遊びの環境を整え、意欲的に取り組めるような声掛けや働きかけを行うことで、子ども達は安心して過ごすことが出来たように感じます。また「少人数制保育」を行っている未満児クラスも担当保育士との信頼関係が出来、落ち着いて過ごすことが出来ました。子ども達の様子はクラスだよりやSNSに掲載しお知らせすることで保護者の方に喜んでいただき、一緒に育ちを共有することが出来ました。

子ども達が安全に過ごせるように努めていましたが、思いがけない怪我が多い一年になりました。ヒヤリハットを検証し、未然に防げるように職員一人ひとりが意識を高めていきたいと思っています。

職員の負担軽減と業務効率化を図る為に、記録類の整備やノンコンタクトタイムを取り入れましたが定着するまでにはまだ時間がかかりそうです。効率的に作業を進め、勤務環境の改善につなげていきます。職員一人ひとりがやりがいと向上心をもって働くことができる職場づくりを目指したいと思っています。

今後も安全管理を含め園での取り組みを職員間で周知し、保護者の方が安心して預けられるように努めます。地域の方に保育園を知っていただき子育て世代に選ばれる保育園となるように日々の保育を大切に行っていきたいと思っています。

東かなまち保育園

1. 施設概要

施設所在地	東京都葛飾区東金町 2-13-10
施設長氏名	大森 有里絵
事業開始年月日	平成 25 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 130 名）

2. 沿革

平成 2 5 年 4 月	東かなまち保育園 開設許可・事業開始
--------------	--------------------

3. 事業経過

(1)施設利用状況

令和 6 年度は、126 名でスタートし、月平均 129.7 名の利用で合計 1,556 名の利用となりました。

一時保育の利用は、担当職員が通常保育の手伝いに回ったこともあり伸び率は低めとなりました。それでも延べ 566 名の利用と昨年度から約 29 名増となりました。6 年度の登録・利用する児童も利用人数制限のある 0 歳児が多かったこともあり、目標であるコロナ禍前の利用人数までは戻すことは困難でした。

子育て広場事業では正規職員を 1 名増やし 2 名常駐としました。週 3 回の開催する活動内容の充実や保護者同士の繋がりができたことから延べ児童 471 名、保護者 469 名の利用となりました。ネットからの予約も人気のイベントは即定員が埋まるなど、需要の多さを感じました。子育てひろば利用者が入園に繋がるケースも年々増え、入園できなかった親子が再び広場利用する姿も見られました。昨年度に続き広場開放日の利用は比較的少なめなため、利用者を増やす工夫が必要と感じました。

(2)運営報告

① 会議・委員会活動報告

毎月 1 回職員会議、ケース会議、給食会議の実施を行い、行事反省、次月の行事確認、研修報告、全体として共有すべき事項や気になる子について話し合いました。また、毎月 1 回以上、リーダー会議を実施し、職員会議とは別に近況報告や伝達事項の共有を行いました。今年度も昨年度に続き園長・主任・副主任で行う話し合う時間や意見を聞く機会を意識してもち、共通理解を深めるようにしました。

2 月には私立保育園連盟所属の近隣保育園より声がかかり、看護師会へ本園の看護師も参加をしました。保育園での看護師のあり方や困りごとなど、交流を通して情報の交換を行いました。災害時の連携などにもつながっていきたく、7 年度の参加も続けて出席していきます。看護師・栄養士に関しては、桜園との感染予防委員会の参加も続けています。

保育事業改善委員会では、環境の違う中ではありますが不適切保育や休憩の取り方、園内研修のあり方など、姉妹園との情報交換の場となり本園の今後の保育内容を検討する参考となりました。

② 行事実施報告

保育内容を見直し改めて検討した行事は、子どもも無理なく取り組み保護者からも好評でした。運動会は昨年と同様に乳児クラスと幼児クラスに日にちを分け、乳児クラスはランチルームで行った様子を動画配信し保護者に公開しました。幼児クラスは3クラスによる園庭での運動会へと戻し、保護者の観覧数も増やしました。生活発表会は昨年度より始めたランチルームで舞台を設けての発表が好評だったため、今年度も同じ形で行いました。保育参観に関しては2日間にクラスを分けて行い、保護者講習として子育てひろばで利用しているボランティア団体「わらべうたと絵本の会」の開催を今年度も設けました。

葛飾区からお知らせのあった「蜂の生態について」の訪問イベントや、清掃車と呼んでのSDGs体験なども積極的に取り入れました。近年、続けているクラシックのコンサートなど、子どもが楽しんで参加できる行事や本物に触れる機会も多く取り入れました。

③ 研修実施報告

キャリアアップ研修を中心に、私立保育園連盟主催の研修などに参加してもらいました。

現地参加の研修が大幅に増え、キャリアアップ研修以外にも積極的に研修を受講する姿がありました。

子育て広場の職員は研修を受け、2名共に子育て支援員の資格を取得しました。

研修については、職員会議で報告の場を設け、研修内容を共有しました。また、研修報告書を提出してもらい共有できる場所にファイルし閲覧履歴を残すように変更しました。

④ 苦情

・発生件数 2件、解決件数 2件

9月に「運動会練習の音楽がうるさい」との苦情が9月に1件ありました。練習の終了時間を伝えると納得され、翌日からは音量やスピーカーの向きを調整しました。全職員への共有と確認を行いました。

園児が職員に引っかかれたと保護者から傷についての苦情がありました。職員に聞き取りを行い、職員が認めた点については直接謝罪し、今後の信頼回復に努めることを伝えた。

⑤ 事故報告

・事故報告 9件 内、病院受診 8件、行政へ報告が必要な重大事故 0件。

病院受診の事故で多かったのは、転倒による打撲や小帯裂傷で8件中7件ありました。転倒は足元の不安定な乳児だけではなく、バランスを崩した幼児にも見られました。幼児に関しては物や人との距離感が取れず起きるケガもあり、子どもたちにも改めて注意を促しました。

昨年度に続き、職員にも年齢に関係なく注意を払うことを改めて指導しました。

安全面には常に意識を持ち、おきた事故に適切な対応がとれるよう研修への参加を計画していきます。

⑥ 地域交流・ボランティア

新型コロナウイルス感染症は落ち着きましたが、園内ではインフルエンザや胃腸炎などの感染が年間を通して出ていたため、東かなまち桜園との交流を行うことはできませんでした。その他、高校生や中学生の職場体験の受け入れも積極的に行いました。年度末には中学生の職場体験の受け入れに関し、区長より感謝状をいただきました。

4. 総括

コロナ禍での働き方として増えていたリモートワーク家庭の減少から、4月時点の園児数が前年度に比べ増えました。0歳児の入所ペースも早く、定員に達する時期も早まりました。それに伴い一時保育の利用人数も増加方向にありましたが、通常保育の職員不足から一時保育の定員数に制限を設けるなどしたため利用数は伸び悩みました。「子育てひろば」から繋がり一時保育を利用する家庭が今年度も見られました。最終利用人数は増え、7年度の入園へと繋がりました。「子育てひろば」は区の積極的なサポートもあり利用者数が順調に増えています。

その一方で職員の応募は今年度も減少傾向が続き、昨年と同様に採用活動と人員の配置に悩む1年となりました。今年度は退職や休みなどで配置人数の欠けるクラスに「子育てひろば」の担当職員を配置することが多く、職員への負担が大きい年となりました。また、採用後の早期退職者が続いたため本部へ相談し、職員採用の見直しを図りました。

保育に関しては、研修などで学んだことや区からのアドバイスを取り入れ思索しながら行いました。行事に関しては、職員や子どもたちの意見を積極的に取り入れ、新しい形を試す中でより良いものへと形作るよう今年度も意識をしました。来年度もアンケートなどを実施し保護者の意見も参考にしながら、園児はもちろん保護者や地域の方にも利用したいと思われる保育園を目指していきます。また、職員が一人ひとりの子どもへの人権擁護の意識を持続することを目的に、不適切保育チェックシートや自己評価表での振り返りを続けました。引き続き園内研修・園外研修を取り入れ知識のアップデートを行うとともに、職員体制と職場環境を整えていくことで来年度も安全、安心な保育を行っていけるようにします。業務の効率化や休憩の時間の確保など、職員も笑顔で保育にあたれるよう来年度も業界全体や都内・区内の情報を収集し、状況改善に取り組んでいきます。

大塚第一保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市西区今宿町 376-1
施設長氏名	黒木 祐子
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 130 名）

2. 沿革

平成 30 年 4 月 1 日	大塚第一保育園 設立認可 事業開始
-----------------	-------------------

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和 6 年度は職員 30 名、園児 115 名でスタートしました。糸島市の広域利用も含め、月平均 117.3 名（利用率 90.2%）の園児を受け入れました。

（2）運営報告

①会議・委員会活動報告

職員会議（2 ヶ月に 1 回は第二保育園と合同の職員会議を実施）をはじめ、リーダー会議、給食会議、ケース会議、クラス会議、行事会議、保育検討委員会等を行いました。会議内容は、非常勤職員にも伝え、全職員へ周知することで園児一人ひとりに丁寧な保育を行うよう取り組みました。検討委員会後は問題点や疑問点の解決を図るようにしました。

②行事・広報活動実施報告

行事も年間を通して、担当保育士が中心となり進めていきました。第二保育園と共に協力しながら進め、保育参観では保育参加型の参観を行い、園の内部を知ってもらうことで保護者からの協力と理解を得て進めることが出来ました。また天候に左右される運動会ではなく、親子で身体を動かして楽しむ、親子フェスタを第二保育園と共に、福岡市西体育館で行い、楽しい雰囲気で行うことが出来ました。

広報活動として Instagram を中心に園内での行事、園外保育等の写真を発信することで、地域の方や入所見学の方、新入园児の保護者や在園児の保護者にも日々の保育の様子を伝えることができ、喜ばれています。

③研修実施報告

担当制保育のWEB研修や参加して良かった研修を正規職員で共有し、職員の子どもに対する向き合い方など、自園ではどのように取り組めることは何か、第二保育園の職員と共有しながら取り組みました。

令和 7 年度も子どもたちのよりよい育ちのために、一人ひとりに寄り添い、安心できる人・場所となるよう、取り組みたいと思います。

専門的な知識を深める為に、行政や関係団体が主催する研修にも参加しました。キャリアアップ研修はWEBの参加を中心に、参加職員は園内研修を行い、知り得た情報の共有を図りました。

④苦情報告

該当なし

4. 総 括

今後も、保護者からの相談・要望をその都度受け止め、園長、主任、担任保育士だけでなく園全体で共有し、対応に努めました。伝達漏れや、日々の持ち物の返し忘れなどには、その日に保護者への連絡を徹底していきます。

⑤事故報告

園児の生命にかかわるようなものではありませんでしたが、今後も大きな事故につながらないように日々のヒヤリハットを見過ごさず、ケガにつながらないよう安全点検を怠らず、事故防止に取り組みます。また、子どもたちの運動能力の向上につながるような遊びを考え、今後も取り組んでまいります。

⑥ボランティア・地域交流

地域の育児相談会に参加し、入所していない保護者の悩み相談にのり、保育園の様子を伝えながら園を知ってもらうよう努めました。専門学校での就職説明会にも参加し、保育士の実習を受け入れ、就職につながるよう努めました。また、日々の保育を学生に体験してもらうことで、保育に興味をもつ学生の増加にもつなげたいと考えます。

今年度は、0・1歳児の入所数が、0歳児7名、1歳児18名でスタートしました。8月からは、12名の受け入れをいたしました。途中入所児はありますが、市外への転出などで、園児数は1年間ほぼ横ばいとなりました。糸島市の広域利用で、5名の園児を受け入れています。

2か月に1回育児相談会に参加し、育児休業中の方たちや地域の方たちに当園が広く知られるよう努めました。引き続き参加していきたいと思います。

予定していた行事は保護者の協力や理解を得て、福岡市西体育館で、2～5歳児の親子で身体を動かして遊ぶ親子フェスタを設けることが出来ました。エアコンが完備されており暑さも解消されたため保護者にも好評でした。来年度も体育館で行いたいと思います。

発表会は、0・1歳児はビデオ販売のみ、2～5歳児は園内にて入れ替わり制にして行うことが出来ました。

卒園式では無事に23名の園児を卒園させることができました。

0～2歳児に月1回ではありますが、英語に触れる機会を設けたことで、歌や曲に合わせて真似をしたり、声に出したりする姿が見られ、日々の生活の一つとして英語に触れるのが、当たり前になると良いと思います。

令和6年度は、職員の途中退職や年度末の退職者も多く大変厳しい状況が続きました。新人職員、在職職員、パート職員と共に、『子ども中心の保育』を理解し協力し合い、子ども一人ひとりを大切に、来年度も努力を重ねてまいります。また、保護者の負担軽減を目的としたおむつのリサイクル回収も引き続き行っています。

令和7年度は、園児や保護者の気持ちに寄り添うことを第一に考え、全職員で協力し、子どもにとって過ごしやすく、保護者にとって居心地の良い保育園を目指してまいります。

大塚第二保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市西区今宿町 376-1
施設長氏名	佐野正人
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 130 名）

2. 沿革

平成 30 年 4 月 1 日	大塚第二保育園 設立認可 事業開始
-----------------	-------------------

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和 6 年度は職員 36 名、園児 117 名でスタートしました。糸島市の広域利用も含め、月平均 118.5 名（利用率 91.2%）の園児を受け入れました。

（2）運営報告

①会議・委員会活動報告

職員会議をはじめ、リーダー会議、給食会議、ケース会議、クラス会議、行事会議、保育検討委員会等を行いました。会議内容は、非常勤職員にも伝え、全職員へ周知することで園児一人ひとりに丁寧な保育を行うよう取り組みました。検討委員会後は問題点や疑問点の解決を図るようにしました。

②行事・広報活動実施報告

行事も年間を通して、担当保育士が中心となり進めていきました。第一保育園と共に協力しながら進め、保育参観では保育参加型の参観を行い、園の内部を知ってもらうことで保護者からの協力と理解を得て進めることが出来ました。また天候に左右される運動会ではなく、親子で身体を動かして楽しむ、親子フェスタを第一保育園と共に、福岡市西体育館で行い、楽しい雰囲気で行うことが出来ました。

広報活動として Instagram を中心に園内での行事、園外保育等の写真を発信することで、地域の方や入所見学の方、新入园児の保護者や在園児の保護者にも日々の保育の様子を伝えることができ、喜ばれています。

③研修実施報告

担当制保育のWEB研修や参加して良かった研修を正規職員で共有し、職員の子どもに対する向き合い方など、自園ではどのように取り組めることは何か、第一保育園の職員と共有しながら取り組みました。

令和 7 年度も子どもたちのよりよい育ちのために、一人ひとりに寄り添い、安心できる人・場所となるよう、取り組みたいと思います。

専門的な知識を深める為に、行政や関係団体が主催する研修にも参加しました。キャリアアップ研修はWEBの参加を中心に、参加職員は園内研修を行い、知り得た情報の共有を図りました。

④苦情報告

該当なし

4. 総 括

今後も、保護者からの相談・要望をその都度受け止め、園長、主任、担任保育士だけでなく園全体で共有し、対応に努めました。伝達漏れや、日々の持ち物の返し忘れなどには、その日に保護者への連絡を徹底していきます。

⑤事故報告

園児の生命にかかわるようなものではありませんでしたが、今後も大きな事故につながらないように日々のヒヤリハットを見過ごさず、ケガにつながらないよう安全点検を怠らず、事故防止に取り組みます。また、子どもたちの運動能力の向上につながるような遊びを考え、今後も取り組んでまいります。

⑥ボランティア・地域交流

地域の育児相談会に参加し、入所していない保護者の悩み相談にのり、保育園の様子を伝えながら園を知ってもらうよう努めました。専門学校の就職説明会にも参加し、保育士の実習を受け入れ、就職につながるよう努めました。また、日々の保育を学生に体験してもらうことで、保育に興味をもつ学生の増加にもつなげたいと考えます。

今年度は、0歳児10名、1歳児20名と、安定した園児数でスタートしました。また、広域利用により糸島市から5名の園児を受け入れています。

2か月に1回、イオン伊都店で開催される育児相談会に参加し、育児休業中の方や地域の方に当園を広く知っていただけるよう努めました。令和7年度も、引き続きこの取り組みを継続していきたいと考えています。

予定していた行事については、保護者の皆様のご理解とご協力を得て、福岡市西体育館にて2～5歳児の親子と一緒に身体を動かして楽しむ「親子フェスタ」を開催することができました。体育館にはエアコンが完備されており、暑さを気にせず活動できたため、保護者からも好評でした。来年度も引き続き、同会場での開催を予定しています。発表会については、0・1歳児はビデオ撮影による販売形式とし、2～5歳児は入れ替え制で園内にて実施しました。

卒園式では、無事に21名の園児を送り出すことができました。

また、0～2歳児を対象に月1回英語に触れる機会を設けたことで、子どもたちが歌や音楽に合わせて真似をしたり、声を出したりする姿が見られるようになりました。日常の中で自然と英語に触れることが、当たり前になれば良いと考えています。

昨年度末には、正規職員6名および非正規職員3名が退職し、保育士の確保と安定した保育運営の提供が大きな課題となっていました。

令和6年度は、保育士の半数が新規採用者であり、園長も交代したことから、新たな気持ちで園の運営に取り組みました。全職員が「子ども中心の保育」の理念を理解し、問題を抱え込まず、全体で協力しながら解決していくことを徹底しました。その結果、年度末に退職する職員が一人も出なかったことは、大きな成果といえます。

令和7年度も、入所している園児や保護者の気持ちに寄り添うことを第一に考え、第一保育園と連携しながら、全職員で協力して、子どもにとって過ごしやすく、保護者にとって居心地の良い保育園づくりに努めてまいります。